



静岡県富士山世界遺産センター
年報 2021.4－2022.3

● 目 次 ●

館長挨拶	1
1 概 要	
1-1 沿革	2
1-2 写真で見る2021.4-2022.3	4
2 活動状況	
2-1 永く守る	
2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成	6
2-1-2 サポートボランティア制度	7
2-1-3 富士山保全協力金	8
2-1-4 富士山安全対策	9
2-2 楽しく伝える	
2-2-1 企画展	10
2-2-2 アトリウム展示活動	17
2-2-3 教育旅行受入	19
2-2-4 出前講座	21
2-2-5 館内講座	26
2-2-6 世界遺産セミナー	28
2-2-7 世界遺産ニュースレター	29
2-2-8 ホームページ・SNS・YouTubeによる情報発信	30
2-2-9 メール会員	31
2-3 広く交わる	
2-3-1 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク）	32
2-3-2 視察受入	33
2-4 深く究める	
2-4-1 巡礼路調査	34
2-4-2 研究活動	36
2-4-3 資料収集	42
3 施設・組織・予算	
3-1 施設	45
3-2 組織	48
3-3 予算	49
4 資 料	
4-1 来館者数データ	50
4-2 2021年度の休館日	50
4-3 新型コロナウイルス感染症対策	51
4-4 公式オリジナルグッズ	52
4-5 報道実績	54
4-6 来館者アンケート結果	56
4-7 条例・規則	60

館長挨拶

ご挨拶

静岡県富士山世界遺産センターが開館し、まもなく5周年を迎えようとしています。

2021年度を振り返りますと、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、来館者数は、約8万9千人と前年度比では約1万人増加したものの、コロナ禍前の年間30万人には及びませんでした。ウィズコロナ時代の対応として、入館者の検温の実施や密の発生を防ぐための入館者数の制限など感染予防対策を徹底しておりますが、移動の自粛が呼びかけられ、これまでのように国内外の多くの方々に来館をいただくことは難しい状況が続いております。

また、富士山そのものも新型コロナ対策を徹底し、夏山登山を再開しましたが、登山者数は回復しないままとなっております。

一方、県境を跨ぐ移動が制限された影響で、県内の小学校から高等学校まで、修学旅行や総合学習といった教育旅行の目的地として当センターが選ばれることが多くなり、来館者数に占める、15歳未満と学生の割合が、コロナ禍前には10数%であったものが、2021年度には約30%と2倍になりました。

次世代の富士山の保全の担い手である若い世代の方々に、富士山の普遍的な価値の持つ崇高さや意義深さを知っていただく良い機会になったのではないのでしょうか。

今後、どのような展開となるかは不透明ながら、当センターとしては、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据え、多くの皆様が安心して快適に過ごせるように万全の運営を心掛けるとともに、開館5周年を契機にさらに進化する博物館として富士山の普遍的価値の継承に邁進して参る所存です。

ここに、当センターの2021年度の足跡を年報という形で取りまとめ、富士山という偉大な存在の持つ価値を、次の時代に繋いでいくための記録の一環と致しました。御活用いただければ幸いに存じます。

2022年9月

静岡県富士山世界遺産センター

館長 遠山 敦子



1 概要

1-1 沿革

2011年10月	基本構想策定委員会を設置
2012年 3 月	基本構想を策定
2012年11月	基本計画策定アドバイザーを設置
2013年 3 月	基本計画を策定
2013年 6 月	世界文化遺産登録決定
2013年 8 月	建設地を富士宮市宮町に決定
2014年 3 月	設計者を株式会社坂茂設計事務所へ決定 展示基本計画を策定
2015年 3 月	実施設計完了
2016年 3 月	建築工事着手
2017年 2 月	2017年12月23日開館を公表
2017年 7 月	建築工事完成
2017年10月	設置管理条例議決 展示工事完成
2017年12月	12月22日開館記念式典開催 12月23日開館
2018年 2 月	入館者10万人達成
2018年 3 月	シアター新番組「地の巻」上映開始
2018年 7 月	入館者30万人達成
2018年12月	入館者50万人達成
2019年 1 月	3階「育む山」展示リニューアル
2019年 3 月	シアター新番組「宙の巻」上映開始
2019年 8 月	富士山世界遺産センターふじっぴー誕生
2019年11月	三笠宮彬子女王殿下 地方事情御視察のため御来館
2020年 3 月	富士山世界遺産センター公式ハンドブック発行
2020年 4 月	新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館 (4月14日から5月31日まで)
2021年 2 月	2月20日観覧料支払いへのキャッシュレス決済導入 2月28日来館者100万人達成
2021年11月	研究・収蔵スペースの増築工事完成

● 基本コンセプト及び機能

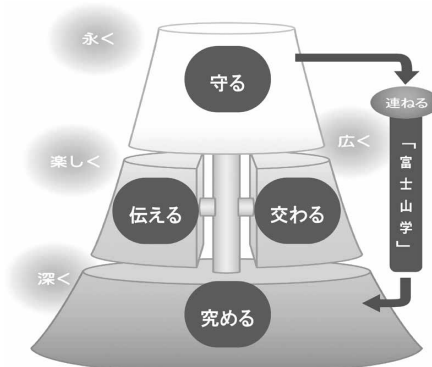
静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産条約第5条（e）の趣旨に則り、富士山が持つ顕著な普遍的価値を次世代に継承し、「永く守る」拠点施設として整備された。

富士山を「永く守る」ためには、資産を適切に保護・管理するとともに、多くの人々が世界文化遺産としての富士山の価値について理解を深めることが必要となる。

そのため、富士山を「永く守る」活動に加え、富士山の価値を「楽しく伝える」活動やセンターの活動を通じて人々が「広く交わる」機会を創出する活動を展開する。さらに、これら「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」の活動内容を奥深いものとするため、富士山の自然や歴史、文化等を「深く究める」活動を展開する。

また、他の研究機関等と連携した「深く究める」活動の成果及びセンターの諸活動を「連ねる」ことで、「富士山学」を体系化し、世界文化遺産「富士山」の価値を探究する活動を継続して実施する。

＜基本コンセプト及び機能概念図＞



1-2 写真で見る2021.4-2022.3

春季企画展

引き出しの中の富士山ー視て楽しむ、蒐めて楽しむー

会期：2021年4月24日～6月13日



静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市教育委員会共催展

富士山表口の歴史と信仰ー浅間大社と興法寺ー

会期：2021年7月10日～9月12日



秋季特別展

シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅳ

家康＋富士山－新発見「富士三保清見寺図屏風」をめぐる－考察－

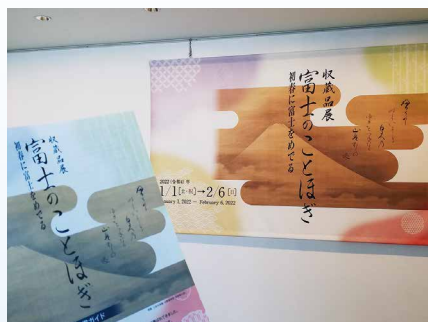
会期：2021年10月2日～11月7日



収蔵品展

富士のことほぎ

会期：2022年1月1日～2月6日



企画展

第2回 絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展

会期：2022年2月23日～3月27日



2 活動状況

2-1 永く守る

2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成

1 概 要

静岡県認定富士山世界遺産ガイドは、世界遺産「富士山」の顕著な普遍的価値及びその適切な保存管理について理解を深め、案内することができることを目的とし、2012年度に発足し、2015年度までの4年間にわたって養成講座を7回実施して、247名が修了した。その後、登録更新希望者を対象に2年毎の更新講座を実施し、その際の意向確認でこれまでに103名が登録を辞退・抹消（逝去等）となり、2021年度末の登録者は144名である。

2 活動内容

- ・各構成資産における来訪者へのガイド
- ・教育機関、旅行業者等の依頼に基づいた添乗ガイド
- ・富士山をテーマとする各種講座等における講師
- ・富士山の価値や適切な保存管理の普及のための活動



（更新講座の様子）

3 更新講座

世界遺産ガイドの知識やモチベーションの維持・向上を目的として更新講座を実施している。例年、年度始めに実施計画日の中から対象者に希望調査を行い、年3回～4回の更新講座を実施している。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大等による延期はあったが、2013・2015年度登録者と2020年度に受講予定であった2012・2014年度登録者のうち新型コロナウイルス感染症を理由とする受講延期者を対象に、10月から2月にかけて4回講座を実施した。また、感染防止の観点から、1回あたりの講座受講者の人数制限や、2022年度での講座受講を認めるなどの措置を行った。

実施日	参加者数	内 容
10月22日	23名	(1)富士山の保存管理の状況（川口企画総務課長） (2)「新田次郎と富士山文学」講座（田代准教授）
12月5日	23名	(1)富士山の保存管理の状況（川口企画総務課長） (2)「富士山の合目標記の変遷」講座（大高教授）
1月15日	13名	(1)富士山の保存管理の状況（川口企画総務課長） (2)「富士山と三保松原と清見寺」講座（松島教授）
2月4日	5名	(1)富士山の保存管理の状況（川口企画総務課長） (2)センター周辺のフィールドワーク（小林教授）
2021年度更新者：68名 2022年度実施の講座にて受講希望者：29名		

● 2-1-2 サポートボランティア制度

1 概 要

地域の人々が静岡県富士山世界遺産センターの日々の活動を支え、来館者とセンター、地域とセンターを結ぶ架け橋として活動する組織として、サポートボランティア制度を設けた。

説明会、研修会を受講した140名がサポートボランティアとして正式に登録し、2017年12月23日の開館日から活動を始めた。高校生・大学生から80代までの幅広い年齢層で構成されたメンバーが笑顔で来館者を迎えている。

2021年度は81名の登録でスタートしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止とボランティアの安全確保のため、5月のファミリーイベントを除き、活動が休止したままの1年であった。

2 活動内容

実施日	センター	サポートボランティアの動き	参加者数
5月3～5日	GWファミリーイベント (クイズラリー&缶バッジプレゼント)	希望者のみイベント補助として参加	19名
8月12～14日、21日	夏休みファミリーイベント(クイズラリー&缶バッジプレゼント)中止	新型コロナウイルス感染症拡大により活動休止	—
2月23日	富士山の日イベント (クイズラリー&缶バッジプレゼント)	新型コロナウイルス感染症拡大により活動休止	—

● 2-1-3 富士山保全協力金

1 概 要

静岡県は、富士山の顕著な普遍的価値（信仰の対象、芸術の源泉など）を広く後世に継承するための意識醸成を理念に、2014年度から富士山保全協力金を受け付けている。当協力金は、富士山の環境保全や登山者の安全対策を進める事業に活用しており、2021年度は、山小屋トイレの改修、御殿場口下山道の整備等に活用した。

2 各登山口の協力金受付

区 分	富士宮口（水ヶ塚駐車場）	須走口	御殿場口
対 象	五合目から先に立ち入る来訪者		
期 間	2021年7月10日～同年9月10日		
記念品	缶バッジ（富士宮口：青、須走口：赤、御殿場口：緑）		
その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協力金受付に併せて、検温・体調チェックを実施した。		

※県富士山世界遺産課において、インターネット・コンビニ受付も実施。



受付・検温・
体調チェックの様子



記念品缶バッジ

3 富士山保全協力金の受入状況

2021年は2019年度と比べて協力者数は35,071人減、協力金額は35,119,791円減となった。

※2020年度は、富士山閉山のため、協力金の受付は実施しなかった。

区 分			2021年		2019年		2021年－2019年	
			7月10日(土)～9月10日(金)		7月10日(水)～9月10日(火)			
			人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
現 地	富士宮	五合目	5,011	5,025,382	22,163	22,117,165	▲17,152	▲17,091,783
		水ヶ塚	7,973	7,866,082	13,005	12,933,396	▲5,032	▲5,067,314
		小 計	12,984	12,891,464	35,168	35,050,561	▲22,184	▲22,159,097
	御殿場		4,829	4,775,517	4,695	4,577,436	134	198,081
	須 走		4,602	4,472,740	16,401	16,541,515	▲11,799	▲12,068,775
	小 計		22,415	22,139,721	56,264	56,169,512	▲33,849	▲34,029,791
ネ イ ッ ト タ 等	インターネット		0	0	205	205,000	▲205	▲205,000
	コンビニ		23	23,000	202	202,000	▲179	▲179,000
	県庁受付		229	229,000	1,067	935,000	▲838	▲706,000
	小 計		252	252,000	1,474	1,342,000	▲1,222	▲1,090,000
合 計			22,667	22,391,721	57,738	57,511,512	▲35,071	▲35,119,791

● 2-1-4 富士山安全対策

1 概 要

静岡県は、山梨県と連携し、富士登山における安全確保のため、富士山須走・吉田ルート of 山頂から八合目までの登下山道の安全誘導、下山道の巡回や案内看板設置等の安全対策、八合目分岐点の道間違い対策を実施している。

2 須走・吉田ルート安全誘導員の配置

静岡県富士山世界遺産センターでは、2021年7月1日から2021年9月10日までの期間、富士山須走・吉田ルート of 山頂から八合目までの登下山道の安全誘導と下山道の八合目分岐点での道間違い防止のため、延べ378人の安全誘導員を配置した。



3 富士山須走・吉田ルート下山道安全対策

静岡県富士山世界遺産センターは、2014年の富士山須走ルート下山道九合目付近での落石による事故を踏まえ、2015年以降の富士山開山期間中、須走ルート山頂～八合目区間で、案内看板の設置や、土砂・石等の埋め戻し等の巡回業務などの安全対策を実施している。



2-2 楽しく伝える

2-2-1 企画展

○企画展

「引き出しの中の富士山―^み視て楽しむ、^{あつ}蒐めて楽しむ―」

会 期 2021年4月24日～2021年6月13日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 10,679人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

古くから富士山は数多くの芸術作品の題材となってきた。明治になり近代化を迎え、印刷技術の発達や郵便制度、鉄道の整備が進む中、絵はがきや登山案内、切手やコイン、マッチ箱やタバコなど、暮らしの中で使われる様々な物にも富士山が多く描かれるようになった。

その引き出しに入るサイズの品々に描かれた「小さな富士山」は、そのデザインを視て楽しむ

存在であると共に、コレクションの対象として蒐めて楽しむ存在でもあった。今回の企画展では、静岡県富士山世界遺産センターが所蔵する郷土史研究家小林謙光氏のコレクションとともに、平川義浩氏（『絵はがきで愛でる富士山』著者）、大宮仁氏（『富士みずほ通信』代表）、井上卓哉氏（静岡県民俗学会会員）に御協力いただき、明治から平成初期までの小さな富士山が描かれた品々を集めた。視て楽しむ、蒐めて楽しむ小さな富士山の魅力を紹介した。



【主な出展作品】

- ・「大宮町鳥瞰図」（絵はがき）
- ・「寄贈絵葉書 富士製紙株式会社」より「第一工場之全景」（絵はがき）
- ・「溶岩で覆われた縁から富士山の火口を覗き込む」（立体写真）
- ・「官幣大社浅間神社富士山本宮絵葉書」（絵はがき袋）
- ・「霊峰富士登山案内」
- ・富士山頂気象レーダー完成記念「剣ヶ峰の気象レーダー」（切手）
- ・第一次国立公園 富士箱根（第二次）「三つ峠からの富士（秋）」（切手）
- ・国際文通週間「神奈川冲浪裏」（切手）
- ・日本万国博覧会記念100円白銅貨「赤富士」

- ・東京オリンピック記念1000円銀貨「桜と富士」

【関連イベント】

- ・公開講座

2021年5月16日

演題：「引き出しの中の富士山」展の見どころ

講師：山川志典主任研究員

- ・ギャラリートーク

2021年4月24日、5月2日

講師：山川志典主任研究員

○特別展

「富士山表口の歴史と信仰—浅間大社と興法寺—」

会 期 〈前期〉2021年7月10日～8月9日

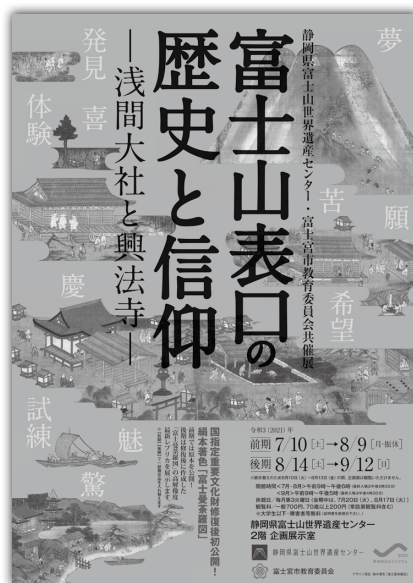
〈後期〉2021年8月14日～9月12日

観 覧 料 一般：700円／70歳以上：200円／大学生以下：無料（常設展観覧料含む）

入場者数 5,850人（期間中の企画展チケット発券枚数）

概 要

静岡県富士山世界遺産センターと富士宮市教育委員会が共同開催する初めての企画展である。富士山南麓から富士山頂を目指す登山道は表口（大宮・村山口登山道）と呼ばれ、大宮の浅間神社（富士山本宮浅間大社）と村山の興法寺（村山浅間神社・富士山興法寺大日堂）を經由することからこの名称がある。両者は古くから権力者の保護を受け、室町時代の制作とされる国



指定重要文化財本「富士曼荼羅図」にも描かれるなど、登山道の中で核となる施設である。かつて周辺には登山者が宿泊する宿坊もあり多数訪れていたが、現在でも関連する歴史資料や遺構が残り、かつての富士山信仰の姿を偲ぶことができる。本企画展では重要文化財本「富士曼荼羅図」の修復後初公開を行い、浅間大社と興法寺の歴史に焦点を当て、富士山表口の歴史と信仰について紹介した。

【主な出展作品】

- ・富士曼荼羅図（富士山本宮浅間大社蔵、静岡県立美術館寄託、国指定文化財）

など、国指定文化財1点、静岡県指定文化財4点、富士宮市指定文化財3点を含む約40点の資料を紹介した。

【関連イベント】

- ・特別講演会（富士宮市民文化会館小ホール）

2021年7月25日

特別講演：鈴木正崇（慶應義塾大学名誉教授）、講演：林直輝（日本人形文化研究所所長）、報告①：大高康正（静岡県富士山世界遺産センター教授）、報告②井上卓哉（富士市市民部文化振興課）。

- ・ギャラリートーク

2021年7月10日・7月17日・8月7日（8月14日・9月4日・9月11日は中止。）

講師：大高康正（静岡県富士山世界遺産センター教授）

松本将太（富士宮市教育委員会文化課）

○秋季特別展

シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅳ

家康+富士山—新発見「富士三保清見寺図屏風」をめぐる一考察—

会 期 2021年10月2日～2021年11月7日

観 覧 料 一般：700円／70歳以下：200円／大学生以下：無料（常設展観覧料含む）

入場者数 7,267人（期間中の企画展チケット発券枚数）

概 要

2020年静岡県富士山世界遺産センターでは、新発見の「富士三保清見寺図屏風」を収蔵した。

本作は右隻に富士山と三保松原、左隻に清見寺を描く。両隻を通じた構図は、17世紀はじめの「巖島三保松原図屏風」（サントリー美術館蔵）の右隻ほかとも近似し、名所を対にした室町時代後期～江戸時代初期のやまと絵屏風が、狩野探幽により編み出された富士山絵画の定型

とも響き合いつつ整理されていく過程にある作品と位置づけられる。それと軌を一にし、本作の絵画様式も江戸時代初期に制作された第二定型「洛中洛外図屏風」諸本や「江戸図屏風」（国立歴史民俗博物館蔵）と通う。

本作の左隻には、大黒頭巾をかぶった隠居風の人物が清見寺を訪ねる様子が描写される。隠居風の人物は多数の従者を引き連れ、周囲には豪華な乗物や獣皮の鞍覆を置いた黒毛の馬も控える。清見寺の書院内には、貴人を迎えるにふさわしく茶器も設えられる。そのためこの人物は、かなりの高位の者と想定され、隠居風の人物ということも考慮すると、大御所として駿府に居を定めた老年期の徳川家康



を描いた可能性がきわめて高い。それに合わせ、清見寺には家康お手植えの臥龍梅が描写される。一方、本作の右隻には、視点をあえて移動する形で神格化された家康をまつる久能山東照宮が描かれる。

かかる本作は「富士三保清見寺図」の枠組みを借りながら、徳川家康を顕彰する目的が込められたものと思われ、その背後には家康をめぐる何らかの“物語”が介在している可能性が強い。

本企画展では、画中に徳川家康を描いた「富士三保清見寺図屏風」を初公開するとともに、関連史料を駆使しつつその内容を読み解き、最新の研究成果を披露する。本企画展ではまた、旧将軍家である徳川記念財団に伝来した作品を中心に、近年新たな知見が加えられた家康の肖像画も展覧し、江戸時代、“神”となった家康を描くことの意味も再考した。

【主な出展作品】

- ・狩野伊川院栄信筆 富士三保清見寺図 一幅 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- ・狩野常信筆 近衛家熙賛 富士三保清見寺図 一幅 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- ・伝土佐又平筆 清見寺伽藍図 一幅 清見寺蔵
- ・作者未詳 巖島三保松原図屏風 六曲一双のうち右隻 サントリー美術館蔵
- ・作者未詳 富士三保清見寺図屏風 六曲一双 静岡県富士山世界遺産センター蔵
- ・作者未詳 徳川家康像（平服姿） 一幅 久能山東照宮蔵
- ・作者未詳 自賛 大輝祥暹像 一幅 清見寺蔵
- ・土屋家御系図（常陸国土浦土屋家文書のうち） 一冊 国文学研究資料館蔵
- ・寛永諸家系図伝（紅葉山東照宮旧蔵） 乙三 一冊 国立公文書館蔵
- ・寛政重修諸家譜（紅葉山東照宮旧蔵） 卷第八十八 国立公文書館蔵
- ・東照宮御実紀 一冊 徳川記念財団蔵
- ・台徳院殿御実紀 一冊 徳川記念財団蔵
- ・藩翰譜 第六 一冊 徳川記念財団蔵
- ・作者未詳（狩野孝信筆か） 白描東照大権現像 一幅 徳川記念財団蔵
- ・狩野安信筆 東照大権現像 一幅 日光東照宮蔵
- ・四代木村了琢筆 南光坊天海賛 東照大権現像 一幅 徳川記念財団蔵
- ・狩野探幽筆 東照大権現霊夢像（寛永十八年正月十七日） 一幅 徳川記念財団蔵
- ・狩野探幽筆 東照大権現霊夢像（寛永十八年二月十七日） 一幅 徳川記念財団蔵
- ・作者未詳 東照大権現霊夢像（年月日不明） 一幅 徳川記念財団蔵
- ・作者未詳 徳川家光像（複製） 一幅 日光山輪王寺蔵

【関連イベント】

- ・スペシャルトーク（富士宮市民文化会館小ホール）

2021年10月17日

演題：大御所家康の文化力とグローバリズム

そして“徳川の平和（パクス・トクガワーナ）”

講師：徳川家広（公益財団法人徳川記念財団理事長）

タイモン・スクリーチ（国際日本文化研究センター教授）

松島仁（静岡県富士山世界遺産センター教授）

司会進行：安田清人（三猿舎代表、歴史評論家）

・ギャラリートーク

2021年10月2日・10月3日・10月23日・11月6日・11月7日

講座：松島仁教授

○収蔵品展

「富士のことほぎ」

会 期 2022年1月1日～2022年2月6日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

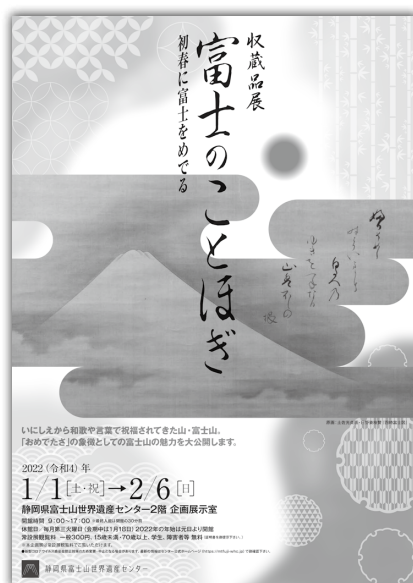
入場者数 8,770人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

富士山は、日本一の高さを誇る山であり、崇高で美しいその姿から、縁起の良い画題として尊ばれてきた。その富士山を和歌や漢詩で言祝ぐ画賛は、まさに新春に相応しいおめでたさを備えていると言える。

本企画展では、センターの収蔵品の中から初春に相応しい慶賀性の高い画賛作品をセレクトし、富士山を描いた絵画と、その絵につけられた漢詩や和歌とによる典雅な世界を紹介した。

また、新収蔵の『竹取物語』の挿絵や、歌川国芳や磯田湖龍斎の浮世絵に描かれた富士、鏡や印籠（個人蔵）などのモチーフとなり日々の生活を彩った富士山など、おめでたさの象徴としての富士山の姿を各ジャンルから集め、その諸相を示した。



【主な出展作品】

- ・狩野常信作・近衛家熙賛「秋景富士三保清見寺図」
- ・土佐光貞画・日野資枝賛「四時富士図」《初出品》
- ・奈良絵本挿絵「竹取物語」《初出品》
- ・池田孤邨画「富士松原図」《初出品》
- ・歌川国芳筆「有卦福曳の図」（浮世絵）《初出品》
- ・引札「富士山と汽車図」《初出品》
- ・梶川作「四季富士山蒔絵手焙」（個人蔵）

【関連イベント】

- ・特別講演会

2022年1月8日

演 題：浮世絵に見る富士山—信仰と憧れ—

講 師：藤澤茜（神奈川大学国際日本文学部日本文化学科准教授）

＊新型コロナウイルス感染症拡大につき、講師はズームを用いて自宅から講座を行った。

・公開講座

2022年1月16日

演 題：富士山の画賛を読む

講 師：田代一葉准教授

・ギャラリートーク

2022年1月10日

講師：田代一葉准教授

・狩野中信筆「富士飛鶴図」の特別限定公開

2022年2月4日～6日

センター所蔵の狩野中信筆「富士飛鶴図」が、万延元（1860）年遣米使節が持参した徳川将軍から米国大統領への贈答品として制作された作品であることが明らかになったことにちなみ限定公開した。

・特別限定公開関連イベント

2022年2月5日

講師：松島仁教授

○企画展

第2回 絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展

会 期 2022年2月23日～2022年3月27日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

入場者数 8,037人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

静岡県では「富士山の日」の推進運動の一環として、2019年度まで「秀景ふるさと富士写真コンテスト」及び写真展を10回開催した。2020年度からは公益社団法人静岡県観光協会、NHK静岡放送局と共催し、これまでの全国各地の「ふるさと富士（見立て富士）」を撮影した「秀景ふるさと富士」部門に加え、静岡県側から「富士山」を撮影した「絶景しずおか富士山」部門の2部門からなる「絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト」を実施している。本企画展は2回目の入賞作品展となり、写真の応募総数は1,039作品にのぼった。審査委員長沼田早苗氏、審査委員織作峰子氏、西田省三氏が厳選した100点の入選作品を展示した。

【出展作品】

・「絶景しずおか富士山」部門

グランプリ 「吊るし雲の四重奏」石川昌之（撮影場所：富士宮市野中）

静岡県観光協会長賞 「秋空を鮮やかに」渡邊博文（撮影場所：富士桜墓地公園（富士宮市））

NHK静岡放送局長賞 「冬の闇に浮かぶ」鷲巣昌太郎（撮影場所：静岡市清水区）

他57作品

・「秀景ふるさと富士」部門

グランプリ 「気嵐の朝」 宇田川洋二（大山「(伯耆富士・出雲富士) 鳥取県」)

静岡県富士山世界遺産センター館長賞 「巣ごもり解消」 福田尚人（「都富士（比叡山） 滋賀県」)

他38作品



絶景しずおか富士山部門グランプリ



秀景ふるさと富士部門グランプリ



● 2-2-2 アトリウム展示活動

静岡県富士山世界遺産センター1階アトリウムでは、様々な機関と連携し、作品展示を行った。

(1) ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

(2021年8月7日～2021年8月22日)

ふじのくに地球環境史ミュージアムによる巡回展示「ミュージアムキャラバン」の一環として、川の魚から深海魚まで、静岡県で見られる多様な魚を剥製や樹脂包埋標本、映像などで紹介する「魚の世界」を展示した。



ミュージアムキャラバン「魚の世界」

(2) 山梨県との連携

(2021年8月25日～2021年9月20日)

静岡県と山梨県の新たな文化財交流展示として、山梨県の八ヶ岳の黒曜石ブランドと森に育まれた魅力あふれる文化財を展示し、縄文世界を紹介した。



ふじのくに文化財交流展「やまなしの縄文世界」

(3) 富士市との連携

(2021年9月22日～2021年9月28日)

静岡県富士山世界遺産センターの賑わいづくり及び来場者の満足度向上、富士市への誘客を目的に、富士市が富士市から見える美しい富士山を広くPRするために毎年開催している「富士山百景写真コンテスト」の入賞作品を展示した。



富士山百景写真展 in 静岡県富士山世界遺産センター

(4) 福岡県との連携

(2021年11月8日～2021年11月28日)

日本の信仰・文化の歴史をたどる上で接点の多い福岡県にある世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群との連携企画として、パネル展にて、宗像・沖ノ島の遺産群と地元の歴史文化施設の魅力や関係性を紹介した。



ハルカムナカタ

(5) 山梨県との連携

(2021年12月1日～2021年12月14日)

富士山憲章事業の一環として、山梨県が開催した、富士山に宛てた年賀状のコンクール「富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」の優秀作品を展示した。



「富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～」優秀作品

(6) 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議との連携

(2022年1月27日～2022年2月7日)

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が主催する、全国の小中高生を対象とした富士山をテーマにした書き初めコンテスト「富士山書き初め2022」の入賞作品を展示した。



「富士山書き初め2022」入賞作品

2-2-3 教育旅行受入

1 教育旅行の受入

静岡県富士山世界遺産センターの基本コンセプトのひとつ「楽しく伝える」として、富士山の「楽習」機会の提供“学習支援”が位置付けられている。その一環としてセンターへの教育旅行団体の誘致促進に取り組んでいる。

2 受入実績概要

2021年度は下表のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響から、遠方（静岡県内にあっては県外）への旅程を、近隣の県（静岡県内にあっては県内）に変更した学校が多くあった。特に県内西部地域の学校からの来館が増加した。延べ268件の教育旅行団体の来館があった。



来館時の説明



5階展望ホールと修学旅行生徒

教育旅行来館数

(単位：件)

	静岡県内			県外		
	東部	中部	西部	※1 首都圏	※2 中部圏	※3 その他
保育園 幼稚園	2	0	0	0	0	0
小学校	41	29	62	14	8	0
中学校	19	7	8	8	18	2
高等学校	15	17	3	3	6	2
大学	0	0	0	0	0	0
専門学校 各種学校	2	1	0	0	1	0
小計	79	54	73	25	33	4
	206			62		
合計	268					

※1…東京都（2）、栃木県（1）、埼玉県（3）、神奈川県（4）、山梨県（14）、茨城県（1）

※2…愛知県（16）、岐阜県（5）、三重県（3）、滋賀県（2）、長野県（7）

※3…京都府（3）、熊本県（1）

2021年度の来館者88,843人（うち、観覧券発券数83,740枚）のうち、小人の入場券発券数19,672枚（全発券数の23.5%）、学生の入場券数7,365枚（全発券数の8.8%）であった。そのうち、教育旅行での受入人数は小人（幼稚園・保育園・小学校・中学校）14,335人（小人発券数の72.9%）、学生（高等学校・大学・大学院・専門学校等）3,551人（学生発券数の48.2%）であった。（※チケット区分〔小人〕15歳未満の児童・生徒、〔学生〕15歳以上の生徒・学生）

[illegible]

静岡県富士山世界遺産センター ワークシート

W O R K S H E E T

世界遺産センター見取図

解 答 欄

自然の中^{なか}の山である富士山^{ふじさん}
「文化的な価値」

富士山の美しい景色や豊かな自然の恵みが、長い歴史を
通してさまざまな
A B C D E F G H I を生み出し、
今もわれわれ日本人の心のよりどころとなり、日本文化
の象徴となっています。

この中^{なか}の富士山の「文化的な価値」^{文化価値}として評価され、
J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z に登録されました。

年 組 番

氏名 _____

(目次)

● 2-2-4 出前講座

1 富士山世界文化遺産出前講座の概要

富士山の自然や文化、世界遺産についての基礎知識をわかりやすく説明し、富士山についての理解と関心を高め、世界遺産「富士山」の後世継承への気運を高めることを目的として、富士山世界文化遺産出前講座を実施している。小・中・高校の総合的な学習の時間や、特別活動における野外活動の事前学習のほか、生涯学習センター等各種団体からの依頼を受けて講師を派遣して講座を実施している。

2 地区・対象別実施数・人数（2021年4月1日～2022年3月31日）

〈一般〉

	地 区				合計
	東部	中部	西部	他	
件数（件）	10	11	2	1	24
人数（人）	409	342	52	36	839

〈学校〉

	地区別件数（件）					人数（人）
	東部	中部	西部	県外	合計	
小学校	7	9	0	0	16	1,314
中学校	4	0	1	1	6	695
高 校	4	0	0	1	5	378
専 門	0	1	0	0	1	45
大 学	0	2	1	0	3	353
合 計	15	12	2	2	31	2,785

3 分野・タイトル別実施数

〈富士山入門〉（担当：山崎主幹・長嶋主査）

	件数（件）			人数（人）
	学校	一般	合計	
ふじさんってどんな山？	15	2	17	2,548
世界遺産の富士山を学ぼう	9	5	14	
合 計	24	7	31	

〈各論 文化：美術〉(担当：松島教授)	件数 (件)			人数 (人)
	学校	一般	合計	
ふじさんを描いてみよう！	0	1	1	134
富士山のかたち、いろいろ	0	0	0	
日本の美と心－富士山	0	1	1	
徳川将軍と富士山	1	4	5	
合 計	1	6	7	

〈各論 自然科学：火山・地質・防災〉(担当：小林教授)	件数 (件)			人数 (人)
	学校	一般	合計	
静岡県の活火山を比較してみよう	1	0	1	86
富士山の噴火史と火山防災（ハザードマップの読み方）	0	0	0	
富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く	1	0	1	
富士山噴火の痕跡を歩いて、見て、触る	0	0	0	
合 計	2	0	2	

〈各論 歴史：信仰〉(担当：大高教授)	件数 (件)			人数 (人)
	学校	一般	合計	
富士山の参詣曼荼羅の絵解き	1	1	2	610
登山案内図に見る富士登山	0	1	1	
富士山の歴史を学ぶ	3	3	6	
合 計	4	5	9	

〈各論 文学〉(担当：田代准教授)	件数 (件)			人数 (人)
	学校	一般	合計	
富士山をほめよう！	0	0	0	150
文学と富士山	0	4	4	
富士山の伝説	0	0	0	
合 計	0	4	4	

〈各論 文化：民俗・文化遺産〉(担当：山川主任研究員)	件数 (件)			人数 (人)
	学校	一般	合計	
富士山麓の人々の暮らし	0	0	0	96
富士山の不思議な話、ちょっと怖い話	0	0	0	
世界遺産学入門	0	2	2	
合 計	0	2	2	

総合計
55件 (3,624人)

4 2021年度出前講座実施一覧

〈富士山入門〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	5月7日	沼津市立今沢中学校	学校	小学5年	東部	95	「世界遺産の富士山を学ぼう」
2	5月12日	静岡市立美和小学校	学校	小学4・5年	中部	27	「ふじさんってどんな山？」
3	5月18日	浜松市立八幡中学校	学校	中学2年	西部	134	「世界遺産の富士山を学ぼう」
4	6月10日	静岡市立西奈小学校	学校	小学5年	中部	121	「ふじさんってどんな山？」
5	6月15日	静岡市立服織小学校	学校	小学4年	中部	151	「ふじさんってどんな山？」
6	6月22日	静岡市立服織小学校	学校	小学5年	中部	187	「ふじさんってどんな山？」
7	6月23日	浜松市庄内協働センター	一般	高齢者	西部	21	「世界遺産の富士山を学ぼう」
8	6月26日	富士宮市教育委員会	一般	子どもと保護者	東部	9	「ふじさんってどんな山？」
9	6月29日	静岡市立由比小学校	学校	小学5年	中部	43	「ふじさんってどんな山？」
10	7月1日	静岡市立葵小学校	学校	小学5年	中部	123	「ふじさんってどんな山？」
11	7月2日	富士宮市立富士根南中学校	学校	中学1年	東部	206	「世界遺産の富士山を学ぼう」
12	7月7日	静岡市興津生涯学習交流館	一般	一般	中部	14	「世界遺産の富士山を学ぼう」
13	7月9日	富士市大淵第二小学校	学校	小学1・2・3・5・6年	東部	31	「ふじさんってどんな山？」
14	7月9日	富士市大淵第二小学校	学校	小学4年	東部	4	「ふじさんってどんな山？」
15	7月9日	富士市大淵第二小学校	学校	教員	東部	9	「世界遺産の富士山を学ぼう」
16	7月13日	富士宮市立大宮小学校	学校	小学5年	東部	67	「ふじさんってどんな山？」
17	9月2日	静岡市立大里東小学校	学校	小学5年	中部	33	「ふじさんってどんな山？」
18	9月7日	御殿場市立御殿場小学校	学校	小学6年	東部	179	「ふじさんってどんな山？」

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
19	9月9日	不二聖心女子学院高等学校	学校	高校2年	東部	72	「世界遺産の富士山を学ぼう」
20	10月5日	御殿場市立原里小学校	学校	小学6年	東部	92	「ふじさんってどんな山？」
21	10月18日	愛知県立加茂丘高等学校	学校	高校2年	県外	9	「世界遺産の富士山を学ぼう」
22	11月7日	静岡県立朝霧野外活動センター	一般	子どもと保護者	東部	67	「ふじさんってどんな山？」
23	11月15日	島田市立六合小学校	学校	小学6年	中部	109	「ふじさんってどんな山？」
24	11月22日	静岡県立富士宮北高等学校	学校	高校1年	東部	209	「世界遺産の富士山を学ぼう」
25	12月2日	三島市女性懇話会	一般	一般	東部	60	「世界遺産の富士山を学ぼう」
26	12月16日	浜松市二俣協働センター	一般	高齢者	西部	31	「世界遺産の富士山を学ぼう」
27	12月20日	焼津市立豊田小学校	学校	小学6年	中部	33	「ふじさんってどんな山？」
28	2月17日	小山町立須走小学校 富士宮市立大宮小学校	学校	小学5年	東部	105	「ふじさんってどんな山？」
29	2月18日	静岡県立富士宮北高等学校	学校	高校2年	東部	47	「世界遺産の富士山を学ぼう」
30	2月19日	静岡県立朝霧野外活動センター	一般	子どもと保護者	東部	110	「世界遺産の富士山を学ぼう」
31	3月23日	東員町立東員第一中学校	学校	中学2年	県外	150	「世界遺産の富士山を学ぼう」

〈各論：文化（美術）〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	5月13日	富士宮市立柚野中学校	学校	中学3年	東部	25	「徳川将軍と富士山」
2	5月26日	富士市教育委員会社会教育課	一般	一般	東部	37	「日本の美と心－富士山」
3	7月29日	静岡市飯田生涯学習交流館	一般	子どもと保護者	中部	15	「ふじさんを描いてみよう！」
4	8月3日	庵原生涯学習交流館	一般	一般	中部	12	「徳川将軍と富士山」

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
5	10月7日	富士宮市立中央図書館	一般	一般	東部	10	「徳川将軍と富士山」
6	10月31日	伊豆市立修善寺図書館	一般	一般	東部	15	「徳川将軍と富士山」
7	1月27日	静岡市江尻生涯学習交流館	一般	一般	中部	20	「徳川将軍と富士山」

〈各論：自然科学（火山・地質・防災）〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	6月16日	学校法人駿河学院 静進情報高等専修学校	学校	専門 1・2年	中部	45	「静岡県の活火山を比較してみよう」
2	7月16日	静岡県立富士高校	学校	高校1年	東部	41	「富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く」

〈各論：歴史（信仰）〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	9月20日	公益財団法人日本キャンプ協会	一般	一般	県外	36	「登山案内図に見る富士登山」
2	10月13日	静岡市岡生涯学習交流館	一般	高齢者	中部	60	「富士山の歴史を学ぶ」
3	10月15日	静岡市両河内生涯学習交流館	一般	高齢者	中部	30	「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
4	11月2日	静岡文化芸術大学	学校	大学	西部	253	「富士山の歴史を学ぶ」
5	11月5日	富士宮市立柚野中学校	学校	中学1～3年	東部	85	「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
6	11月10日	静岡市江尻生涯学習交流館	一般	高齢者	中部	30	「富士山の歴史を学ぶ」
7	11月13日	公益社団法人ふじのくに 地域・大学コンソーシアム	学校	大学	中部	50	「富士山の歴史を学ぶ」
8	11月14日	公益社団法人ふじのくに 地域・大学コンソーシアム	学校	大学	中部	50	「富士山の歴史を学ぶ」
9	12月17日	静岡市袖師生涯学習交流館	一般	一般	中部	16	「富士山の歴史を学ぶ」

〈各論：文学〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	11月13日	須走まちづくり推進協議会	一般	一般	東部	16	「文学と富士山」
2	11月24日	御殿場市教育委員会社会教育課	一般	一般	東部	60	「文学と富士山」
3	1月14日	大井川公民館	一般	一般	中部	48	「文学と富士山」
4	1月22日	焼津市立焼津図書館	一般	一般	中部	26	「文学と富士山」

〈各論：文化（民俗・文化遺産）〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地域	人数	タイトル
1	10月14日	静岡市有度生涯学習交流館	一般	高齢者	中部	71	「世界遺産学入門」
2	10月30日	須走まちづくり推進協議会	一般	一般	東部	25	「世界遺産学入門」

● 2-2-5 館内講座

1 館内講座の概要

富士山について学ぶ機会の提供を目的として、富士山に係る最新の調査・研究及び、企画展示の見どころについて、一般の方々を対象に館内講座を実施した。毎月第3日曜日を開催基準日に設定し、センターの研究員や外部の専門家と一般の方々が富士山を題材に、「広く交わる」ことができる講座を開催してきた。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大等を背景に8月、9月、11月、12月、2月は実施できず、他の回も感染症対策を講じて実施した。感染症対策の主なものとしては、換気・消毒の徹底、定員（30名）の設定、事前申込制の導入などである。

2 実施状況

開催日	講 座 名	講 師	人数 (人)
4月18日	「富士山ハザードマップ（改定版）から学ぶべきこと」	静岡大学未来社会デザイン機構 小山真人副機構長	26

開催日	講 座 名	講 師	人数 (人)
5月16日	「企画展『引き出しの中の富士山』の見どころ」	静岡県富士山世界遺産センター 山川志典主任研究員	8
6月20日	「小泉八雲文学の中の富士山」	常葉大学外国語学部 那須野絢子助教	6
7月18日	「ちびっこあつまれ！ふじさんこうざ」	静岡県富士山世界遺産センター 山崎喜之主幹	5
10月17日	「家康＋富士山　－新発見『富士三保清見寺図屏風』をめぐる一考察－　スペシャルトーク」	静岡県富士山世界遺産センター 松島仁教授	50
1月16日	「富士山の画賛を読む」	静岡県富士山世界遺産センター 田代一葉准教授	10
3月20日	「福徳岡ノ場の噴火と漂着軽石」	東京都立大学大学院 石村大輔助教	14
合　　計			119



公開講座の様子

● 2-2-6 世界遺産セミナー

1 概 要

静岡県富士山世界遺産センターで実施している調査研究の成果を、広く社会に還元するため、毎年度富士山世界遺産セミナーを開催している。

2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、定員の削減や、事前申込制とするなどの対策を講じての開催となった。2021年度は当初8月に焼津市での開催を予定していたが、台風接近による当日の荒天が予想され、中止となった。

その後、再度、開催を焼津市と検討し、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、11月に実施した。なお、焼津市での世界遺産セミナー開催は初となる。

2021年度開催実績

開催日	共催	テーマ・内容	参加人数
11月23日	焼津市 (焼津公民館 大集会室)	『富士山と文学 ―語り継ぎ、読み継ぎいかん―』 富士山に関わる様々な文学のうち、平安、江戸、明治の異なる時代の視点を設け、それぞれについて理解を深めるほか、連関する富士山文学の様相を示すことで、富士山文学への関心を深めてもらうことを目的とする。	47人



ポスター（8月開催予定時）



会場の様子



講演の様子

2-2-7 世界遺産ニュースレター

1 概 要

世界遺産ニュースレターは、「富士山」の世界文化遺産登録の気運醸成のため、世界文化遺産登録前の2007年11月に創刊した。

世界文化遺産「富士山」の後世継承のため、富士山世界遺産課、静岡県富士山世界遺産センターを中心に富士山に係る最新情報を年3回提供している。2021年度からは紙媒体からホームページでの公開に切り替え、県民に向けて情報を発信している。

2 実 績

号	頁	内 容
44号 2021年 6月	表紙	静岡県富士山世界遺産センター外観写真、目次
	2・3面	夏山登山に向けて（富士山世界遺産課）
	4面	【静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市教育委員会共催展】富士山表口の歴史と信仰－浅間大社と興法寺－（大高教授） 第12回富士山世界遺産セミナー「富士山と文学－語り継ぎ、読み継ぎいかん－」（田代准教授）
	5面	研究員コラム「村山浅間神社・興法寺大日堂の石灯籠からの考察」（山川主任研究員）
45号 2021年 11月	表紙	静岡県富士山世界遺産センター外観写真、目次
	2面	今夏の富士登山を振り返って（富士山世界遺産課）
	3面	静岡県富士山世界遺産センター収蔵品展「富士のことほぎ」（田代准教授）
	4面	研究員コラム「『家康＋富士山』展を開催して」（松島教授）
46号 2022年 2月	表紙	静岡県富士山世界遺産センター外観写真、目次
	2面	富士山の日、静岡県富士山世界遺産センターへ！（長嶋主査）
	3面	「絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展」紹介（山崎主幹）
	4面	静岡県富士山世界遺産センター開館5周年に向けて（川口企画総務課長）
	5面	研究員コラム「近現代以降の富士山各登山道の『合目』標記の再編」（大高教授）



● 2-2-8 ホームページ・SNS・YouTubeによる情報発信

静岡県富士山世界遺産センターでは、コロナ禍における来館者数減少、デジタル社会のより一層の推進等、センターを取り巻く環境の激変に対応すべく、インターネットにおける情報発信の手段において、従来から行っていたホームページおよびFacebookに加え、新たに、Twitter・Instagram・YouTubeを開設し、情報発信力の強化を図った。

ホームページでは主に、企画展やイベントの情報を、SNSでは主に、イベント情報や富士山の様子などタイムリーな出来事を発信した。また、YouTubeでは、公開講座等のライブ配信を行った。

HPアドレス：<https://mtfuj-Whc.jp/>

Facebook アドレス：<https://www.facebook.com/TheFujisanWHC/>

Twitter アドレス：<https://mobile.twitter.com/Mtfujiwhc3776>

Instagram アドレス：https://www.instagram.com/mtfuj-Whc_shizuoka/

YouTube アドレス：<https://www.youtube.com/channel/UCOpJNr22jCPxVNFJPxsf8A>

	HP	Facebook	Twitter	Instagram	YouTube
アクセス・登録者数	168,129	1,469	199	308	12

(2022年3月31日現在)



2-2-9 メール会員

1 概要

静岡県富士山世界遺産センターでは、年6回開催の企画展や各種イベント情報等、センターの最新情報をメールマガジンで配信するメール会員の募集・運用を行っている。

センターの最新情報をタイムリーに配信するだけでなく、メール会員限定の特典企画を定期号として毎月1日に発信。

会員数1,350人（2022年3月31日現在）

募集アドレス

<https://mtfuji-whc.jp/mailmagazine/>

静岡県富士山世界遺産センター
MT.FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA

Enjoy!

メール会員

MAIL

募集集中!

Hello

企画展やイベント、講座情報など旬な話題をメールで配信!
会員限定の特別企画・イベント情報などお得な情報をいち早くゲット!

ご登録はこちら

Step 1 QRコードを読み取ってアクセス

Step 2 メールが立ち上がり空メール送信

Step 3 空メール受付完了メール内のアドレスにアクセス

Step 4 メールアドレスの入力と、居住地を選択し、送信

Step 5 入力事項を確認し、登録送信で完了

登録完了!

※迷惑メール対策をしている場合、静岡県富士山世界遺産センターからのメールを受信できないことがあります。
※通信料はお客様ご負担となります。 ※ご登録いただいたメールアドレスは、静岡県富士山世界遺産センターからのご案内に利用いたします。

静岡県富士山世界遺産センター



【現在開催中の企画展のご案内（～3/27）】



3月27日(日)まで「絶景・秀景 富士山世界遺産写真コンテスト入賞作品展」を開催中です! 「静岡県側から撮影した富士山」と「全国のふもと富士」の2部門からなるコンテストにて、応募総数1,039点の中から各部門で入賞した100点を展示しています! 詳しくはこちら。

【3月公開講座のご案内】



3月20日(日)に公開講座「福徳岡ノ場の噴火と漂着軽石」を開催します! 東京都立大学の石村助教をお招きし、富士山とも共通点のある「福徳岡ノ場」の噴火と軽石漂着状況などについて詳しく解説いただきます! 参加申込は3月10日(木)までとなっております。詳しくはこちら。
【写真: 海上保安庁】

【次回企画展のご案内（4/29～6/26）】



4月29日(金・祝)から企画展「暮らしと遊びのなかの富士山」を開催します! 現在、「開運! なんでも鑑定団」に鑑定士として出演中の林直輝氏が所有する、私たちの暮らしや遊びのなかに見られる富士山が題材となった様々なコレクションを展示します! 会期中には林氏の講座やギャラリートークも予定しておりますので、お楽しみに! 詳しくはこちら。

2-3 広く交わる

2-3-1 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク加盟）

1 概 要

地域貢献、富士山周辺の博物館施設との広域連携を目的に、静岡県富士山世界遺産センターは、2018年度から「富士山ネットワーク推進委員会（以下、富士山ネットワーク）」に加盟している。「富士山ネットワーク」とは富士山を中心に点在する博物館関係施設が、サービスの向上と効果的なPRを目指して1993年に組織したもので、「富士山かぐや姫ミュージアム」「裾野市立富士山資料館」「富士山樹空の森」「奇石博物館」「富士サファリパーク」「富士山こどもの国」と当センターの7館園が加盟している。今年度は当センターが事務局を担当した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの運営となった。



「ぐるりんコンテスト」入賞作品巡回展の様子

〔館園長会議〕 2021年6月に当センターを会場に予定されていたが、書面決裁での実施となった。

〔ぐるりんコンテスト〕 夏休みに小学生を対象に、作文、絵日記、工作などの作品を募集する「夏休み富士山ぐるりんコンテスト」、同コンテスト審査会、入賞作品の各館園での巡回展を行なうことができた。また、新規事業として入賞作品集、カレンダーを作成した。（※受賞者を一堂に集めての表彰式は実施できなかった。）

〔PRイベント〕 各館のイベントや市民イベント等に出展し、クイズや体験ブースを設置するPR活動は昨年度に引き続き、一切実施できなかった。

〔その他〕 定例会ではコロナ禍における各館園の運営状況の確認、PR方法の検討が行われた。新規のPR方法として、SNSを活用した館園写真掲載等が行われた。

2 主な活動

月 日	内 容（※定例会は主なもの）	場 所 ・ 備 考
7月14日	館園長会議	※書面決裁にて実施。
4月15日 5月14日 6月9日 7月14日 9月17日 12月16日 3月16日	定例会（※10、11、1、2月中止） 「ぐるりんコンテスト」事業内容について他 館園長会議調整、準備他 館園長会議準備、「ぐるりんコンテスト」準備他 館園長会議書類回収、「ぐるりんコンテスト」 チラシ配布について他 「ぐるりんコンテスト」審査会他 「ぐるりんコンテスト」作品集、カレンダー作成 次年度負担金について他 年度末各種報告、次年度事業準備他	富士サファリパーク 富士山こどもの国 奇石博物館 富士山かぐや姫ミュージアム 静岡県富士山世界遺産センター 富士山樹空の森 静岡県富士山世界遺産センター
10月中旬～ 4月中旬	「ぐるりんコンテスト」入賞作品の巡回展示	加盟館園 ※静岡県富士山世界遺産センター最終

*「裾野市立富士山資料館」は2022年4月から「休館」につき、同会を脱退。

2-3-2 視察受入

1 概 要

2021年度は、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る外出自粛の影響により、視察件数が新型コロナウイルス感染症流行前よりも大幅に減少し、自治体の世界遺産関係部署及び施設運営関連部署等からの行政視察、建築関係及び観光関係等の民間企業や各種団体からの視察を含め、16件、213人受入に留まった。年度後半では、新型コロナウイルス感染症の流行が比較的落ち着いていた状況もあり、静岡県観光協会主催の旅行会社担当者によるツアーの下見も3件あった。

(1) 件数

(単位：件)

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外(国)	海外(自治体)	合計			
2021年4月計							0	1	1	2
5月計							0	1		1
6月計							0		2	2
7月計		2					2			2
8月計		2					2	1		3
9月計							0			0
10月計				1			1			1
11月計					1		1			1
12月計	1						1	1		2
2022年1月計							0	2		2
2月計							0			0
3月計							0			0
計	1	4	0	1	1	0	7	6	3	16

(2) 人数

(単位：人)

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外(国)	海外(自治体)	合計			
2021年4月計							0	60	60	120
5月計							0	2		2
6月計							0		21	21
7月計		16					16			16
8月計		16					16	20		36
9月計							0			0
10月計				1			1			1
11月計					7		7			7
12月計	2						2	3		5
2022年1月計							0	5		5
2月計							0			0
3月計							0			0
計	2	32	0	1	7	0	42	90	81	213

2-4 深く究める

2-4-1 巡礼路調査

1 概 要

静岡県（事務局：静岡県富士山世界遺産センター）では、これまで総合調査が実施されていない登山道及び山麓の構成資産間を結ぶ巡礼路の研究計画を策定するとともに、巡礼路等の調査を実施するため、2015年に考古学、歴史学、民俗学、美術史といった各分野の学識者で構成される「富士山巡礼路調査委員会」を設置した。

2015年度から2018年度にかけては、小山町との連携の下に、須走口登山道の調査を実施し、その成果は2018年度に『富士山巡礼路調査報告書 須走口登山道』として刊行した。2017年度から2020年度にかけては、富士市及び富士宮市との連携の下に、大宮・村山口登山道の調査を実施し、その成果は2020年度に『富士山巡礼路調査報告書 大宮・村山口登山道』として刊行した。

2021年度は、調査成果を発信する機会として、企画展示室で「富士山表口の歴史と信仰」展を富士宮市と共催し、関連イベント（特別講演会）を富士宮市民文化会館で開催した。また、2021年度から2024年度にかけて、裾野市及び御殿場市との連携の下に、須山口登山道・御殿場口登山道の調査を開始したところである。

2 富士山巡礼路調査委員会の役割

- (1) 県が策定する巡礼路調査計画に関すること
- (2) 巡礼路調査の実施に関すること
- (3) 巡礼路調査報告書の作成に関すること
- (4) その他、巡礼路調査等に関すること

3 富士山巡礼路調査委員会の構成

職 名	氏 名	専攻分野	職 名
委 員 長	中村羊一郎	民俗学	静岡産業大学総合研究所客員研究員
副委員長	菊池 邦彦	日本近世史	東京都立産業技術高等専門学校名誉教授
委 員	時枝 務	歴史考古学	立正大学文学部教授
委 員	松田香代子	民俗学	松田民俗研究所代表
委 員	山本 勉	美術史（仏像）	鎌倉国宝館長

※事務局 静岡県富士山世界遺産センター学芸課（担当 大高康正）

4 事務局及び各市町担当者の業務内容

- (1) 富士山巡礼路調査委員会への出席
- (2) 調査予定先との連絡調整、現地調査の立会い
- (3) 登山道の経路を把握するための現地踏査（GPSデータの取得）
- (4) 現地調査先での資料調査（聞き取り調査、資料撮影など）
- (5) 調査成果の整理（撮影資料の目録採録、巡礼路調査報告書の分担執筆）

5 2021年度の調査内容

- ・ 6月2日 同年度第一回調査委員会（直接出席またはオンライン出席で開催、中村委員長、菊池副委員長、時枝委員、松田委員、山本委員出席）
- ・ 7月14日 当センターおよび裾野市立富士山資料館にて所蔵資料の確認と調査内容に関する検討会（菊池副委員長、松田委員出席）
- ・ 10月29日 御殿場市内において保管資料の確認と御殿場口登山道調査の内容に関する打合せ（菊池副委員長、松田委員出席）
- ・ 2月24日 御殿場市内において、仏像調査に係る現地視察（山本委員出席）
- ・ 2月25日 裾野市内において、仏像調査に係る現地視察（山本委員、松田委員出席）

その他、委託調査として現地調査用図面の作成業務を実施し、委託調査担当、裾野市担当職員、御殿場市担当職員、事務局センター研究員とで、適宜図面作成に関する打ち合わせ、校正作業を実施した。



御殿場市内での仏像調査



裾野市内での仏像調査

● 2-4-2 研究活動

○松島 仁（まつしま じん）教授

1 著書

- ・『家康＋富士山 新発見「富士三保清見寺図屏風」をめぐる一考察』、静岡県富士山世界遺産センター、2021年10月）

2 雑誌等論文

- ・「文化的規範としての”富士山”の成立」、『富士山学』第2号、雄山閣、2022年3月

3 報告書等 なし

4 その他の執筆 なし

5 学会講演 なし

6 一般講演

- ・2021年10月7日「令和3年度図書館講座 徳川将軍のイメージ戦略」（富士宮市立中央図書館）
- ・2021年10月31日「第75回読書週間記念講座 徳川将軍と富士山」（修善寺図書館）

7 授業 なし

8 社会的活動

（1）委員・役員

- ・徳川記念財団特別研究員

（2）非常勤講師・客員教員等 なし

（3）査読 なし

（4）学術交流・研究会の開催 なし

（5）他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応 なし

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

【テレビ】

- ・2021年10月13日 NHK静岡放送局「たっぷり静岡」（企画展「家康＋富士山」）
- ・2022年1月15日 NHK BSプレミアム「特別番組『幕末使節団と美術品』（「富士飛鶴図」紹介）
- ・2022年2月4日 静岡朝日テレビ「とびっきり静岡」（「富士飛鶴図」紹介）
- ・2022年2月22日 NHK静岡放送「おはよう静岡『文化遺産“富士山”の歴史新発見』（「富士三保清見寺図屏風」紹介）

【ラジオ】 なし

【新聞】

- ・2021年9月26日 富士ニュース「徳川家康と富士山 世界遺産センター10月2日から特別展」
- ・2021年10月1日 静岡新聞「富士山の金屏風に家康？県富士山世界遺産センター 隠居風人物 隠れた“物語”考察」
- ・2021年10月2日 岳南朝日新聞「県富士山世界遺産センター『富士三保清見寺図屏風』初公開 きょうから企画展」
- ・2021年10月9日 富士ニュース「この人物は家康？新出の屏風と貴重な肖像画」
- ・2021年10月16日 静岡新聞「富士宮『世界遺産センター』家康と富士山 金屏風初公開 生前の面

影？肖像画も」

- ・2021年10月20日 岳南朝日新聞「“徳川の平和” などテーマに語り 県富士山世界遺産センター松島教授、徳川さん（徳川記念財団理事長）ら対談 企画展『家康＋富士山』でSP&ギャラリートーク」
 - ・2022年1月21日 静岡新聞「世界遺産センター『富士飛鶴図』江戸遣米使節 贈答品か」
 - ・2022年1月23日 読売新聞「富士の掛け軸 海を超えて 世界遺産センター所蔵品 幕末 米大統領に贈答か」
 - ・2022年1月29日 富士ニュース「富士飛鶴図を公開 徳川将軍が米大統領へ 2月4日から」
 - ・2022年2月3日 中日新聞「14代 徳川家茂が米大統領に寄贈 掛け軸 県内所蔵品と一致」
 - ・2022年2月5日 富士ニュース「将軍から米大統領へ 世界遺産センター 富士飛鶴図を公開 あすまで」
 - ・2022年2月23日 中日新聞「県世界遺産センター所蔵の金屏風 激レア 富士家康同居 隠居後の清見寺来訪描く 神格化目的か」
 - ・2022年3月31日 中日新聞「家茂 英女王に寄贈の品 王室所蔵 富士山や三保松原描いた金屏風」
- 10 海外学術調査 なし

○小林 淳（こばやし まこと）教授

1 著書（編著・単著） なし

2 論文

- ・「伊豆諸島、神津島における過去3万年間のテフラ層序と噴火史」（村田昌則・小林 淳・青木かおり・高橋尚志・西澤文勝・鈴木毅彦：地学雑誌、130-3、379-402、2021年）
- ・「箱根火山最新期噴火活動に関連した地形と堆積物」（小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史：月刊地球、通巻510号（44-3）138-146、2022年）
- ・「伊豆大島北・西部におけるカルデラ形成以前のテフラ」（寺山 怜・小林 淳・村田昌則・高橋尚志 鈴木毅彦：月刊地球、通巻510号（44-3）、147-155、2022年）

3 報告書等

- ・「大鹿窪遺跡で確認した富士火山起源のスコリア層と広域テフラ層序」（小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦：史跡大鹿窪遺跡発掘調査報告書—史跡整備事業に伴う再発掘調査—、富士宮市教育委員会、2022年）

4 その他の執筆

- ・「特集「噴火史研究と火山観測を統合した新たな火山像の確立」について（巻頭言・口絵写真解説）」（奥野 充・井口正人・三好雅也・三浦大助・小林 淳・橋本武志・大場 武・佐藤鋭一・宝田晋治：火山、66-2、65-70、2021年）
- ・「富士山火山ハザードマップ（改定版）の公表とそのポイント」（富士山学、89-90、2022年）

5 学会講演

- ・2021年6月5日「房総沖海底掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序—9世紀噴火イベントの給源火山の推定」（青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦：日本地球惑星科学連合2021年大会（オンライン）、HQR05-05）

- ・2021年6月5日「埼玉県東部、元荒川沿いの沖積層上部を構成する再堆積火山噴出物」(村田昌則・高橋尚志・青木かおり・西澤文勝・小林 淳・鈴木毅彦：日本地球惑星科学連合2021年大会(オンライン)、HQR04-P06)
- ・2021年8月27日「房総沖海底掘削コアC9010Eに介在するスコリア層の給源火山推定」(青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦：日本第四紀学会2021年大会(オンライン—大阪)、O-12)
- ・2021年8月27日～28日「富士相模川ラハールと猿橋溶岩の桂川(相模川)の応答」(白井正明・小林 淳・河尻清和・宇津川喬子：日本第四紀学会2021年大会(オンライン—大阪)、P-13)
- ・2021年9月18日「火山噴出物の再移動による埼玉県東部元荒川沿い沖積低地形成への影響」(村田昌則・高橋尚志・青木かおり・西澤文勝・小林 淳・鈴木毅彦：日本地理学会2021年秋季学術大会(オンライン)、58).
- ・2022年3月1日「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序研究の進捗と概要；玄武岩質テフラの給源」(青木かおり・小林 淳・村田昌則・高橋尚志・石村大輔・西澤文勝・鈴木毅彦：高知コアセンター、令和3年度共同利用・共同研究成果発表会)

6 一般講演

- ・2021年4月21日「火山災害の特殊性と富士山噴火—富士山ハザードマップ(改定版)の読み解き方—」(静岡県警察；富士火山の基礎に関する学習会)
- ・2021年5月23日「富士山噴火が作り上げた屏風岩・景ヶ島溪谷」(裾野市生涯学習センター)
- ・その他、富士山世界文化遺産出前講座を適宜対応

7 授業 なし

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・富士山火山防災協議会 構成機関(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・箱根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 委員
- ・日本火山学会特集号「噴火史研究と火山観測を統合した新たな火山像の確立」編集委員会 委員
- ・次世代火山研究 PJ データ利活用推進タスクフォース：降灰チーム 委員

(2) 非常勤講師・客員教員等

- ・静岡大学防災総合センター 客員教授
- ・首都大学東京都市環境学部 客員准教授

(3) 査読

- ・日本第四紀学会

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・2020年5月～ 富士宮市史編さん事業(執筆員)
- ・その他、適宜対応

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演 なし

10 海外学術調査 なし

○大高 康正（おおたか やすまさ）教授

1 著書（編著・単著） なし

2 論文

- ・2021年11月「暦応三年板碑銘文と富士峰修行」（『郷土志木』50号、志木市郷土史研究会）

3 報告書等

- ・2021年7月展覧会図録『富士山表口の歴史と信仰—浅間大社と興法寺—』（静岡県富士山世界遺産センター・富士宮市教育委員会編、第一章特論・第三章本文・第三章特論・出品資料解説（仏像・懸仏）執筆、静岡県富士山世界遺産センター）

4 その他の執筆

- ・2022年2月「近現代以降の富士山各登山道の「合目」標記の再編」（『世界遺産ニュースレター』Vol.46、静岡県富士山世界遺産センター）

5 学会講演

- ・2022年3月5日：日本山岳修験学会第41回富士山学術大会記念講演テーマ「富士山信仰の多様性・地域性」質疑応答・ディスカッション司会
- ・2022年3月6日：日本山岳修験学会第41回富士山学術大会研究報告「富士参詣曼荼羅三明神社本を絵解く」

6 一般講演

- ・2021年7月25日 富士宮市民文化会館「富士山表口の歴史と信仰—浅間大社と興法寺—」特別講演会：報告①「富士山巡礼路調査（大宮・村山口登山道）の成果」
- ・2021年10月15日 静岡市清水区岡生涯学習交流館：「富士山の歴史を学ぶ」
- ・2021年10月15日 静岡市清水区両河内生涯学習交流館：「富士山の参詣曼荼羅を絵解く」
- ・2021年10月30日 すばらしり隊養成講座：「世界文化遺産「富士山」の構成資産」
- ・2021年11月5日 富士宮市立袖野中学校：「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
- ・2021年11月10日 静岡市清水区江尻生涯学習交流館：「富士山の歴史を学ぶ」
- ・2021年12月5日 富士山世界遺産ガイド更新講座：「富士山の「合目」標記の変遷」

7 授業

- ・2021年11月2日 静岡文化芸術大学「静岡学」講座：「富士山と富士山信仰」（映像配信）
- ・2021年11月13日・14日 ふじのくに地域・大学コンソーシアム「ふじのくに学」単位互換授業：「富士山の自然と社会」（オンライン配信）

8 社会的活動

（1）委員・役員

- ・小山町文化遺産を活かした巡拝の道づくり委員会委員
- ・小山町文化財保存活用地域計画策定会議委員
- ・（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本構想検討委員会委員
- ・日本山岳修験学会理事
- ・日本山岳修験学会富士山学術大会実行委員
- ・富士市文化財保護審議会審議委員
- ・富士宮市史（中世）執筆員

(2) 非常勤講師・客員教員等

・なし

(3) 査読

- ・日本山岳修験学会第29回学会賞・第30回学会賞・第16回奨励賞・第17回奨励賞選考委員
- ・日本山岳修験学会編『山岳修験』第70号・第71号編集委員

(4) 学術交流・研究会の開催

- ・2022年3月5日・6日：日本山岳修験学会第41回富士山学術大会実行委員

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・2022年1月1日：「神霊宿る、信仰の山」（『VISA 2022年1+2号』掲載）取材

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

- ・2021年5月21日 TOKAIケーブルネットワーク：「静岡彩発見 加藤諒と行く 富士山世界遺産めぐり」取材協力、出演
- ・2022年2月18日 SBS放送：ORANGE「富士山の合目」取材協力、出演
- ・2022年3月6日 BS-TBS放送：世界遺産4K8Kディレクターズカット版「富士山の四季」ナレーション本文監修

10 海外学術調査 なし

○田代 一葉（たしろ かづは）准教授

1 著書（編著・単著） なし

2 論文

- ・田代一葉「近世中後期の堂上歌人による名所障子歌の制作について」（日本近世文学会編『近世文藝』第113号、2021年1月）【査読あり】

3 報告書等 なし

4 その他の執筆

- ・（書評）石田千尋著『富士山と文学』（『山と溪谷』第1045号、山と溪谷社、2022年1月）

5 学会講演

- ・2022年2月16日開催 国際シンポジウム「名所の図像学」（2021年度大阪大学文学研究科国際共同研究力向上推進プログラム「デジタル文学地図の構築と日本文化研究・教育への貢献」主催、科研基盤研究（B）「デジタル文学地図の構築と日本古典文学研究・古典教育への展開」共催）にパネリストとしてオンライン参加。論題「江戸時代の屏風歌・障子歌にみる名所」

6 一般講演

- ・世界遺産県民講座「富士山文学入門」（YouTube配信）

7 授業 なし

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・職務の性質上、委員の名称を明記できないが、次代の研究者養成にかかわる内容の委員
- ・日本近世文学会春季大会運営組織メンバー

(2) 非常勤講師・客員教員等 なし

(3) 査読 なし

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・新見南吉記念館より新見南吉が登った富士山の登山道についての問い合わせなど

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

- ・2021年12月11日 富士ニュース「初春ことほぐ画賛 世界遺産センター元日から収蔵品展」
- ・2021年12月25日 岳南朝日「県富士山世界遺産センター 元旦から「おめでたき」作品展」
- ・2022年1月6日 岳南朝日「県富士山世界遺産センター 来月6日まで収蔵品展 縁起のいい富士山で魅了」
- ・2022年1月9日 富士ニュース「新春祝う画賛作品 世界遺産センターで収蔵品展」
- ・2022年1月18日 岳南朝日「富士山の画賛に理解深め 県富士山世界遺産センター公開講座」
- ・2022年1月10日 ラジオエフ「ミュージアムリンク」出演など

10 海外学術調査 なし

○山川 志典（やまかわ ゆきのり）主任研究員

1 著書（編著・単著） なし

2 論文 なし

3 報告書等 なし

4 その他の執筆

- ・「村山浅間神社・興法寺大日堂の石灯籠からの考察」（『世界遺産ニュースレター』vol.44、静岡県富士山世界遺産センター、2021年6月）

5 学会講演 なし

6 一般講演 なし

7 授業 なし

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・御殿場市文化財審議会委員

(2) 非常勤講師・客員教員等 なし

(3) 査読 なし

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応 なし

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演 なし

10 海外学術調査 なし

● 2-4-3 資料収集

1 資料収集の方針

静岡県富士山世界遺産センターでは、設置目的である富士山の価値の後世継承、富士山学の研究、情報発信拠点としての役割を果たすため、富士山に関する資料を以下の視点から収集している。

- (1) 「信仰の対象」と「芸術の源泉」としての普遍的な価値を証明する資料を収集する。
- (2) 貴重な文化財の滅失や散逸を防ぐとともに、富士山学の研究の充実や教育の普及、集客力の強化に活用する資料を収集する。

2 2021年度収集作品

2021年度は下記 8 件の資料を収集した。各作品の概要と収集の理由は下記の通り。

(1) 購入

- ・奈良絵挿絵 竹取物語 十三図 作者不明 江戸時代中期頃か

作品概要と収集理由：

奈良絵とは、室町時代後期から江戸時代中期にかけて京都を中心に作られた、美しく彩色された絵入りの絵本や絵巻の絵のことで、昔話や古典文学を題材とする。

本資料は、本来あるべき『竹取物語』の詞書（本文）がない。その理由としては、資料に損傷が生じたため絵だけを切り取って残したのではないかと推察される。完全な状態ではないものの、奈良絵本の竹取物語が市場に出てくるのは非常に稀であり、今後入手できる機会に恵まれるかどうかはわからない。なおかつ本資料は『竹取物語』の各場面を本文に忠実に丁寧に描写しており、特に物語の最後で、帝がかぐや姫からもらった手紙と薬を富士山で焼かせる場面を絵画化したものは類例がなく、センターで所蔵するのにふさわしい資料である。

- ・不二孝関係写本一括 十冊 江戸後期写

作品概要と収集理由：

富士講のうちの一派である身祿派、伊藤参行やその門弟小谷三志、さらにその門人鈴木頂行らにより説き広められた相互扶助や勤労奉仕などの教えについての写本一括で、この一派を「不二孝」（不二道）と称している。

不二道については以前からその教えにより女人禁制解放の動きを行っていた一派として知られていたが、近年幕末の万延元年の庚申縁年に多くの女性が実質的に八合目以上へ登山を行っていた可能性が指摘されており（宮崎ふみ子「女人禁制を超えて」、『近世史講義』）、富士山の信仰史を考える上でも大変有意義な資料となるものと考えられる。

- ・東海道分間絵図 桑楊編 折帖一帖 天明年間（1781～1789）刊か

作品概要と収集理由：

『東海道分間絵図』は、江戸から京都へと至る道中を絵入りの地図によって示したものである。遠近道印（1628－1670）が製作し、浮世絵師の菱川師宣（1618？－1694）が道中の人物や名所、風俗を描写し、

元禄3年(1690)に刊行され、元禄16年版、正徳元年版などと版を重ねた。当該資料は、道印編の『東海道分限絵図』を、桑楊なる人物が旅行に携帯しやすいよう改正増補し、宝暦2年(1752)に刊行したもの。

墨に加え黄色と水色も木版で摺られていて、紅色などはあとから手で彩色し仕上げられおり、巻頭の「汐のみちひ」を示す図には仕掛けが入っているなど手が込んでいる。保存状態も良好であり、江戸時代の旅行の史料としても展示映えるものである。

- ・ 山水略画式 鋏形蕙斎(1764-1824)画 木版色摺一冊 寛政12年(1800)刊 須原屋市兵衛版
作品概要と収集理由：

鋏形蕙斎は、もとは北尾政美と名乗り、絵入り本の挿絵で有名な浮世絵師であったが、後に美作津山藩の御抱絵師となり、名を鋏形蕙斎紹真と改めた。本資料のような、筆数を極端に減らして描く略画風の絵本に蕙斎の真価が発揮されていると言われており、略画式のシリーズには『略画式』『鳥獣略画式』『人物略画式』がある。

この『山水略画式』は、江戸から近畿地方までの風光明媚な名所の風景を描くもので、江戸の随所から眺められ、江戸名物でもあった富士山は、多くの江戸名所の遠景に描かれている。金沢八景や江ノ島、箱根へと富士山に近づくにつれて山容は大きくなり、吉原、薩埵峠に至るまで多様な姿が描かれている。当該資料は、保存状態も良好であることから、企画展などでのさまざまな活用が期待できるものと考えられる。

- ・ 富士と鷹 磯田湖龍斎(1735-1790?)画 木版色摺 柱絵
作品概要と収集理由：

磯田湖龍斎は、独特の中性的で華奢な美人画で名を馳せた江戸中期の浮世絵師、鈴木春信(1725?-1770)とならび賞される絵師で、春信に倣いつつも現実の肉体を感じさせる湖龍斎の美人画様を確立し、人気を博した。

本図に描かれた女性の灯籠髷という髪型の流行が、安永中期から天明年間であることから、制作時期はその頃と考えられる。初夢に見ると良いとされる「一富士二鷹三茄子」の中の、富士山と鷹(鷹匠)を合わせた画題であり、柱絵を得意とした湖龍斎らしく、その二つを縦長の画面を巧みに配置した、すっきりと整った構図である。近年、湖龍斎は人気のある絵師であることから、2022年1月の企画展「富士のことほぎ」において、富士のめでたさを示す浮世絵作品として展示した。

- ・ 有卦福曳の図 歌川国芳(1798-1861)画 木版色摺 竪大判二枚続 安政5年(1858)
作品概要と収集理由：

幕末の浮世絵師である歌川国芳は、武者絵や風刺画、戯画などに才能を発揮し、近年「奇想の絵師」と賞されるなど再評価が進み、人気の高い絵師の一人である。

江戸時代後半から明治時代初期にかけて行われていた民間信仰の有卦無卦説において、7年間幸運が続く「有卦」という期間に入った人にお祝いとして贈ったり、家に飾ったりしたのが「有卦絵」で、当該資料もそのひとつである。有卦絵は「ふ」のつくもの(特にめでたいもの)尽くしで構成され、富士山が描かれることも多い。本図では富士山の前に龍頭船が配されて、「富士越龍」の見立てになっているほか、擬人化された41種類にもおよぶ「ふ」のつくものが福引きをしているという見所の多い戯画で、国芳の真骨頂が発揮されている。こちらも2022年1月の企画展「富士のことほぎ」において、

富士のめでたさを示す資料として展示した。

- ・富岳西行図 狩野永恵立信（1815～1891）・狩野勝川院雅信（1823～1879）筆 絹本墨画 一幅 江戸時代末期

作品概要と収集理由：

狩野永恵立信は、江戸時代末期から明治期に活躍した狩野派絵師。父はそれまでの狩野派様式を更新した江戸時代後期の木挽町家当主狩野伊川院栄信。長兄は父を継いで木挽町家当主となった狩野晴川院養信。次兄は浜町家を襲った狩野董川中信。永恵立信は狩野宗家の中橋家を継承し、弘化年々間には晴川院養信が主導した江戸城障壁画制作に参加するとともに、安政から文久期には董川中信らと幕末期に欧米諸国に贈られた絵画を作成する。時代が明治へと改まると、永恵立信はアーネスト・フェノロサを指導しつつ近代日本画誕生の礎を築き、明治20年（1887）には明治宮殿に筆を揮い、同23年には帝室技藝員に任命される。江戸城と明治宮殿双方の障壁画制作に携わり、将軍家御絵師と帝室技藝員の双方をつとめた、時代の転換期を生きた画家である。

狩野勝川院雅信は、晴川院養信の嫡男で永恵立信の甥で最後の木挽町家当主。狩野派総帥として董川中信や永恵立信とともに近世近代転換期の狩野派を支えた。弟子に横山大観ら後進を育成し近代日本画の礎を築いた橋本雅邦や狩野芳崖がいる。

本作は漂泊の歌人西行が富士山の雄大さに驚嘆する様を描いた「富士見西行」の一例。同主題を描いたものとしては、狩野探幽の次弟尚信による屏風絵（板橋区立美術館蔵）が名高い。富士山と西行を対角線上に付置しつつ、白と黒、大と小のコントラストを際立たせた機知に富んだ主題である。

狩野派から近代日本画にいたる富士山絵画のメインストリーム、富士山絵画の定型化を考えるうえで重要な位置を占める作例といえる。

- ・富士越龍図 狩野永泰（？～1842）筆 絹本墨画 一幅 江戸時代後期

作品概要と収集理由：

狩野永泰は、狩野山楽・山雪にはじまる京狩野派の画家。京狩野派は江戸に移住し将軍家御用絵師となった探幽ら江戸狩野派とは、行動を異にし京都にとどまり民間絵師として活躍した。永泰の父は狩野永章で、江戸時代後期に京狩野家を中興させた狩野永岳は兄。息子に“復古やまと絵”の大成者として名高い冷泉（岡田）為恭がいる。『平安人物志』に名が記載されるとともに、『続浪華郷友録』にその名が録され大坂城障壁画制作でも筆を揮うなど、大坂画壇でも活躍した。

本作は激しい飛沫をあげながら海中から身を躍らせる龍を前景に、その背後に白妙の富士を描く横大幅である。「富士越龍」のテーマは古くは狩野探幽の頃から描かれるが、富士山絵画の主要な画題として人気を集めるようになるのは、寛政から文化・文政期の江戸画壇である。もっとも狩野探幽筆「雲龍富士図」や石川丈山「富士山」詩にみられるように、江戸時代初期の「富士越龍」が霊峰富士の神秘性や超越性を象徴する主題だったのに対し、江戸時代後期になると吉祥性が読み取られ世俗的な側面がより強調される。

一方、京都画壇における「富士越龍」として夙に名高いのが、安政の大獄を主導した大老井伊直弼の御前で揮毫されたといわれる狩野永岳の作品（静岡県立美術館蔵）。本作は縦横の違いはあるものの、クローズアップされた龍の躍動感、ダイナミックな飛沫などは、兄の作風と通り、京狩野派における「富士越龍」の受容と展開、定型化を考えるうえで甚だ示唆にとむ。

3 施設・組織・予算

3-1 施設

1 建物概要

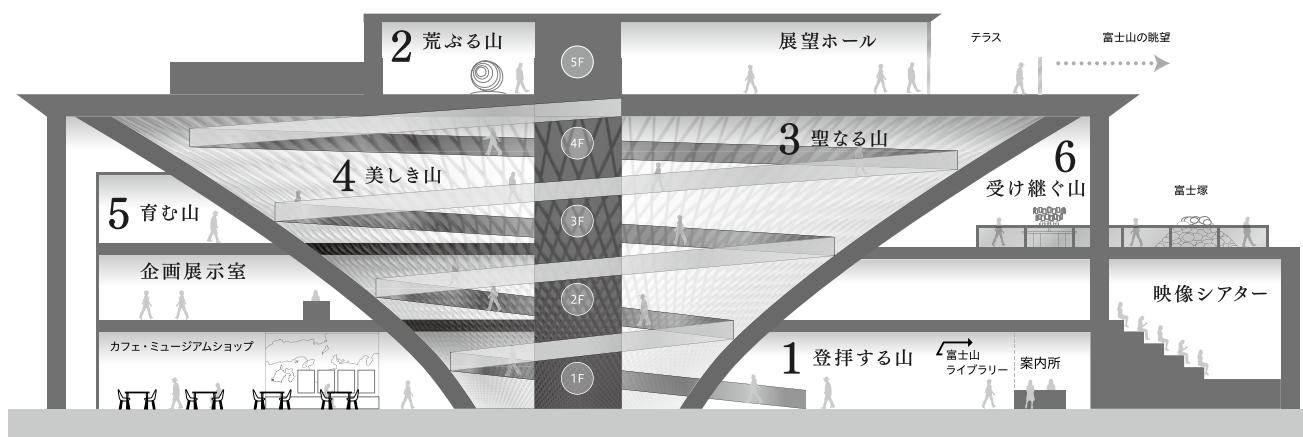
名 称	静岡県富士山世界遺産センター Mt.FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA
敷地面積	6,086.7㎡
延床面積	3438.45㎡
構 造	鉄骨造（5階建て）
設 計	株式会社坂茂建築設計
施 工	建 築 佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体 電 気 住友・三和特定建設工事共同企業体 機 械 須賀・遠藤特定建設工事共同企業体 防音壁 株式会社若杉組 収蔵庫 金剛株式会社 外 構 佐藤工業株式会社静岡営業所 さく井 土屋産業株式会社 サイン 株式会社若杉組
展示設計・施工	株式会社丹青社
西棟左官造作・富士塚制作	挾土 秀平（職人社 秀平組）

富士ヒノキの木格子の外壁を持つ建物は「逆さ富士」を表現し、前面の水盤に映り込むと「富士山」の姿が現れる。水面に映る富士山は、内部に豊富な湧水をたたえた「水の山」としての富士山を象徴的に表している。

富士山の湧水を館内に取り込み、空調熱源として利用した後、水盤に利用し、富士の水の循環を建築的にも表現している。



2 フロアマップ



この施設では、スロープを上りながら富士登山を感じ、本物の富士山に出会い、世界遺産「富士山」について学ぶ、「富士山」を満喫する体験を提供している。

展示については、「富士山の総合的、学際的、国際的な研究活動を展開していく中で、各コーナーが有機的につながりあう展示」「世界からの来館者を感化する展示」をテーマとしている。

3 施設概要

所在地 静岡県富士宮市宮町5-12

T E L 0544-21-3776

F A X 0544-23-6800

営業時間 9:00～17:00

(7、8月は～18:00、
最終入館は閉館の30分前)

休館日 毎月第3火曜日、施設点検日

観覧料 300円(団体割引あり)

15歳未満、70歳以上、学生、障がい者等は無料(要証明)

企画展は別途料金を設定

アクセス JR身延線富士宮駅から徒歩8分

新東名高速道路新富士ICから約10分

東名高速道路富士ICから約15分



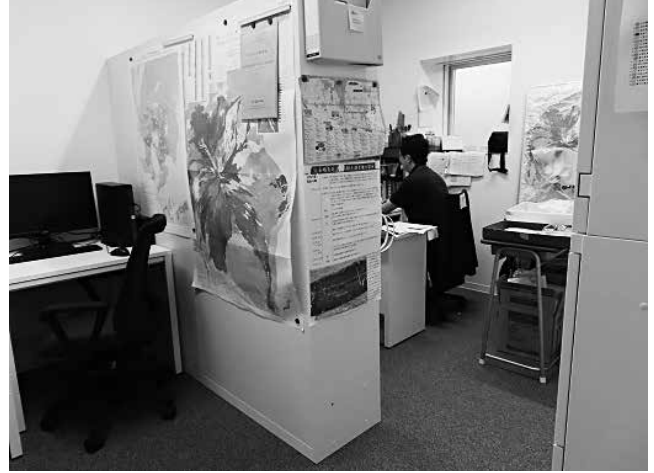
4 増築工事概要

静岡県富士山世界遺産センターにおける研究が活性化し、他機関との共同研究が拡がりを見せており、その成果を反映した多種多様な企画展が来館者の好評を得ている。今後、さらに共同研究を促進し、より魅力的な展示を行うため、研究に必要なスペースを整えた。

・工事期間 2021年1月28日～2021年11月8日

・工事後写真

2階 研究室



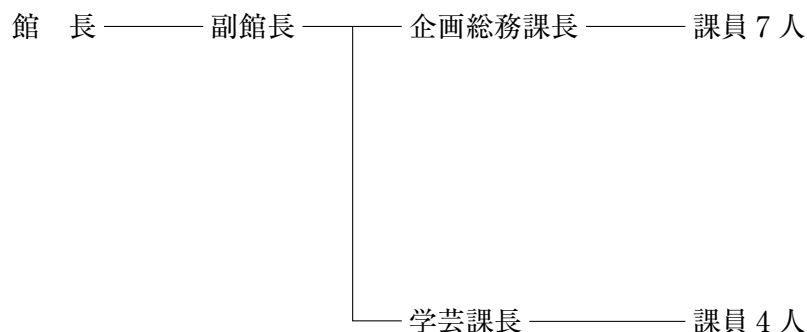
1階 研究資料収蔵用倉庫



3-2 組織

1 組織図・職員（2021年度）

〈組織図〉



〈企画総務課〉

課長	1人
班長	1人
主幹	1人
主査	1人
主任	1人
主事	3人

〈学芸課〉

教授兼課長	1人
教授	2人
准教授	1人
主任研究員	1人

職員数計 14人

（その他会計年度任用職員）

職名	人数
会計年度任用職員	3人

〈職員〉

館長	遠山 敦子
副館長	佐野 博之
企画総務課長	川口 智弘
企画総務班長	服部 広輝
企画総務課主任	野村 晋一
企画総務課主事	久保田有輝
企画総務課主事	荒木 玲美
企画総務課主事	小野寺 輝
企画総務課主幹	山崎 喜之
企画総務課主査	長嶋 昌和
学芸課長兼教授	松島 仁
学芸課教授	小林 淳
学芸課教授	大高 康正
学芸課准教授	田代 一葉
学芸課主任研究員	山川 志典
会計年度任用職員	遠藤 香澄
	渡邊 敦美
	鈴木 綾音

3-3 予算

1 富士山世界遺産センター管理運営事業費（2021年度）

歳出の部

（単位：千円）

項 目		予算額 (当初)	決算額	内 容
究める	調査研究	11,535	4,482	巡礼路調査、分野別研究
	資料収集	12,652	12,396	収蔵品購入
伝える・交わる	教育普及	1,060	475	世界遺産セミナー、館内講座、出前講座の実施
	展 示	53,075	38,754	常設展示の更新、企画展の開催
	情報発信	3,796	2,535	ホームページ、ニュースレター等様々な情報発信
守る	人材養成	319	71	世界遺産ガイドのスキルアップ講座
維持管理		129,986	120,930	光熱水費、接遇スタッフ、設備運転、清掃、定期点検 ほか
増 築		65,762	49,701	センターの機能強化のための増築工事
事 務 費		21,548	19,494	非常勤職員人件費、消耗品費、印刷費、職員旅費 ほか
歳 出 計		299,733	248,838	

歳入の部

（単位：千円）

項 目	予算額 (当初)	決算額	内 容
観覧料収入	42,040	15,099	常設展観覧料、特別展観覧料
その他収入	71,106	54,689	庁舎貸付料、物品貸付料等
歳 入 計	113,146	69,788	

4 資 料

4-1 来館者数データ

2021年度月間来館者数推移

(単位：人)

年	月	全体	観覧券発券数						
			一般	団体	小人	学生	高齢者	その他	計
2021	4月計	6,166	3,426	166	496	979	569	224	5,860
2021	5月計	7,570	4,077	26	1,995	381	429	345	7,253
2021	6月計	3,534	1,711	0	948	367	198	175	3,399
2021	7月計	7,168	3,637	45	2,052	318	360	366	6,778
2021	8月計	6,250	3,659	0	1,097	583	253	425	6,017
2021	9月計	3,637	2,388	20	305	317	327	120	3,477
2021	10月計	10,566	4,212	0	3,762	673	971	686	10,304
2021	11月計	15,134	5,463	199	4,850	578	1,480	880	13,450
2021	12月計	8,087	3,027	172	1,988	1,391	638	390	7,606
2022	1月計	8,714	5,366	158	1,083	354	855	287	8,103
2022	2月計	5,097	2,162	32	250	488	318	1,629	4,879
2022	3月計	6,920	3,916	0	846	936	670	246	6,614
2021年度累計		88,843	43,044	818	19,672	7,365	7,068	5,773	83,740

4-2 2021年度の休館日

毎月第三火曜日、施設点検日、年末年始がセンターの休館日となっている。

2021年度における休館日は以下のとおりである。

〈毎月第三火曜日〉 4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、
11月16日、12月21日、1月18日、2月15日、3月15日

〈施設点検日〉 6月14・16～18日、12月20日・22～23日

〈年末年始〉 12月27日～12月31日

4-3 新型コロナウイルス感染症対策

静岡県富士山世界遺産センターは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種感染対策を実施した。2020年度から2021年度にかけては、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における持続可能な博物館運営を目指して、来館者が安全安心に鑑賞できる展示環境を整備するとともに、遠隔地在住者など来館が困難な人に対しても、疑似展示鑑賞体験を提供できるよう、デジタルコンテンツ等の充実を図った。

〈2020年度からの継続対策内容〉

- 入館時の検温
- 館内各所への消毒液の設置
- 入館制限
- シアター座席制限
- 企画展示室入場人数制限

〈新規対策内容（文化施設における安全安心な鑑賞機会等の提供事業費（センター執行分））〉

対 策	目 的	内 容
デジタルコンテンツの充実	遠隔地での観覧及び来館意欲の醸成	【V R 富士山世界遺産センター】 館内の展示フロアの疑似観覧が楽しめるV R方式の3 Dマップを公式H Pに掲載。 【センター紹介P V】 ドローンで空撮したセンター外観映像や館内展示のタイムラプス映像等を公式H Pで紹介。 【富士山ライブカメラ】 展望ホールから富士山を撮影するカメラを設置し、当該カメラにて撮影した映像をライブ・アーカイブにて公式H P等で配信。
公開講座等のWeb配信	遠隔地での受講及び受講者の密集回避	公開講座等の館内イベントを、公式YouTubeでライブ配信。
事前予約システムの導入	館内混雑回避及び来館者の利便性向上	Web上での予約が可能な、団体観覧者（学校団体含む）及びイベント参加者対象の観覧及びイベント参加予約システムを構築。
スマホ音声ガイドの改修	タッチパネルによる感染リスクの軽減	現行の音声ガイドのシステムを利用した、来館者のスマートフォンでの常設展示タッチパネル内容解説システム等を構築。
モニターへの抗菌シート装着	タッチパネルによる感染リスクの軽減	現行タッチパネルに抗菌シートを設置。

【V R 富士山世界遺産センター】



【センター紹介P V】



【富士山ライブカメラ】



【音声ガイドシステム】



【団体観覧事前予約システム】



4-4 公式オリジナルグッズ

1 概要

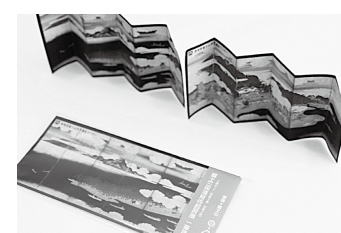
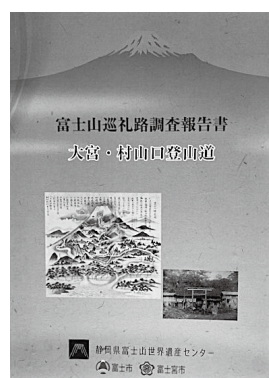
静岡県富士山世界遺産センターでは、観覧の記念やお土産として持ち帰って楽しんでもいただけるよう、当センターオリジナルのグッズ制作・販売を行っている。2021年度は、計5点のオリジナルグッズを制作し、合計して18点のオリジナルグッズを、当センターミュージアムショップにて販売した。

2 オリジナルグッズ一覧（2021年3月31日現在）

No	商品名	内容	販売開始時期
1	富士山世界遺産センター クリアファイル	当センターの特徴的な建築物と富士山をプリントしたクリアファイル	2017年12月
2	富士山世界遺産センター ポストカード（4種）	当センターの特徴的な建築物や富士山をプリントしたポストカード	2017年12月
3	正統展図録	2018年度秋季特別展図録	2018年9月※

No	商 品 名	内 容	販売開始時期
4	富士山巡礼路須走口報告書	富士山須走口登山道の調査成果をまとめた報告書	2018年※
5	富士すがた	当センター建築物の形を模したオリジナル最中	2018年
6	谷文晁展図録	2019年度冬季特別展図録	2019年12月※
7	公式ハンドブック	当センター常設展の図録	2020年 6 月
8	富士ひのきコースター	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したコースター	2020年 8 月
9	富士ひのきスマホスタンド	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したスマホスタンド兼ペン立て	2020年 8 月
10	富士ひのきフォトフレーム	当センター建築物に使用されている富士ひのきを活用したフォトフレーム	2020年 9 月
11	ハイブリッド狩野派展図録	2020年度秋季特別展図録	2020年10月
12	ポップアップメモ	当センターの特徴的な建築物と富士山をプリントしたメモ帳	2020年12月
13	マグネットクリップ	当センターオリジナルふじっぴーをプリントしたマグネットクリップ	2020年12月
14	富士山巡礼路大宮・村山口報告書	富士山大宮・村山口登山道の調査成果をまとめた報告書	2021年 4 月
15	富士山表口の歴史と信仰展図録	2021年度富士宮市共催展図録	2021年 7 月
16	家康＋富士山展図録	2021年度秋季特別展図録	2021年10月
17	富士三保清見寺図屏風一筆箋	センター所蔵品の屏風を用いた一筆箋	2021年10月
18	富士三保清見寺図屏風クリアファイル	センター所蔵品の屏風を用いたクリアファイル	2021年10月

※ 3、4、6の商品は、2020年6月に受付での販売からミュージアムショップでの販売へ変更した。



4-5 報道実績

1 概 要

静岡県富士山世界遺産センターは、開館から4年目となるが、施設紹介や企画展開催などの内容は継続して、新聞報道や県内ニュースや情報番組によるテレビ報道、旅行雑誌など多方面にて紹介されてきた。

また、研究成果として、所蔵品である富士三保清見寺図屏風に登場する人物が徳川家康である可能性についてや、同じく所蔵品である富士飛鶴図が遣米使節団の米国大統領への贈答品と判明したことが、新聞やテレビで大きく取り上げられ、広く報道された。

報道実績一覧表【センター独自集計による】

	新聞	テレビ (県内ニュース)	テレビ (その他)	雑誌	合計
2021年4月	2	1	0	0	3
2021年5月	0	0	1	1	2
2021年6月	0	0	0	2	2
2021年7月	1	2	1	1	5
2021年8月	0	0	1	1	2
2021年9月	0	0	1	1	2
2021年10月	2	2	0	2	6
2021年11月	0	0	0	0	0
2021年12月	0	0	0	0	0
2022年1月	3	1	1	0	5
2022年2月	4	3	0	0	7
2022年3月	0	1	0	2	3
合計	12	10	5	10	37

※テレビ（その他）は、県内ニュースを除く県内情報番組及び全国番組での放映回数

4-6 来館者アンケート結果

1 概 要

来館者の動向、評価等をモニタリングするためアンケートを実施した。

2 実施結果

(1) 第一回

・日本語によるアンケート

○来館日 2018年1月29日～2月12日
15日間（平日10日間・土日休日5日間）

○総人数 420人（男191人・女229人）

・英語によるアンケート

○来館日 2018年5月8日～5月31日
24日間（平日18日間・土日休日6日間）

○総人数 68人（男43人・女25人）

(2) 第二回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日 2018年9月20日～11月13日
54日間（平日36日間・土日休日18日間）

○総人数 436人（男202人・女234人）

(3) 第三回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日 2019年10月1日～11月30日
59日間（平日40日間・土日休日19日間）

○総人数 167人（男 85人・女 80人）

(4) 第四回（日本語によるアンケートを実施）

○来館日 2020年10月1日～11月30日
59日間（平日40日間・土日休日19日間）

○総人数 103人（男 57人・女 46人）

(5) 第五回（日本語によるアンケートを実施）

○来館日 2021年11月1日～12月26日
51日間（平日33日間・土日休日18日間）

○総人数 118人（男 62人・女 56人）

3 各回比較結果

○年齢構成

コロナ禍でも引き続き修学旅行等教育旅行での来館があり、20歳未満の比率が高い。

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
第一回	15%	5 %	4 %	9 %	19%	24%	24%
第二回	17%	7 %	5 %	10%	5 %	29%	28%
第三回	20%	4 %	5 %	8 %	14%	24%	25%
第四回	31%	6 %	3 %	8 %	14%	21%	17%
第五回	23%	9 %	6 %	11%	16%	14%	19%

○居住地の区分

コロナに伴う渡航制限が続き、国外からの来客はなかった。また、コロナ対策として近場の旅行先が選ばれ、県内からの来館比率が高まった。

	国外	県外	県西部	県中部	県東部	内地元二市
第一回	—	17%	8 %	28%	47%	(26%)
第二回	8 %	31%	13%	20%	28%	(17%)
第三回	13%	45%	3 %	14%	24%	(14%)
第四回	—	55%	11%	18%	16%	(8 %)
第五回	—	42%	24%	16%	17%	(15%)

・県外の内訳

関東、東海地区で全体の60%を超え高い比率を維持している一方、北陸甲信が大きく増えた。

	北海道・東北	関東	東海	北陸甲信	関西	中国・四国	九州
第一回	4 %	48%	26%	4 %	7 %	6 %	4 %
第二回	1 %	53%	16%	11%	13%	7 %	0 %
第三回	1 %	44%	20%	15%	11%	4 %	5 %
第四回	—	51%	30%	4 %	14%	—	2 %
第五回	4 %	43%	18%	16%	14%	0 %	4 %

県別上位 東京20% 山梨県14% 神奈川県・愛知県12%

○センターまでの交通手段（複数回答可）

国外及び県外遠隔地からの来館が減少した影響から航空機、新幹線、団体の減少から観光バスでの来館比率が減少し、県内及び近隣都県からの来館、少人数での来館の増加から自家用車の利用比率が増加している。

	新幹線	在来線	路線バス	観光バス	車	徒歩	航空機
第一回	4 %	10%	0 %	5 %	78%	6 %	1 %
第二回	6 %	11%	4 %	29%	52%	6 %	4 %
第三回	11%	19%	4 %	26%	42%	6 %	13%
第四回	7 %	15%	3 %	14%	54%	6 %	2 %
第五回	8 %	10%	2 %	11%	63%	6 %	0 %

○来館回数

昨年度までと比較し、3回以上の来館者の比率が大幅に増加した。

	初めて	2回目	3回以上
第二回	89%	8 %	3 %
第三回	84%	10%	6 %
第四回	86%	7 %	6 %
第五回	77%	8 %	14%

○センターの認知（複数回答可）

開館当初に比べて新聞・テレビ等で特別に取り上げられる機会は多くないが、雑誌や知人の紹介がやや増えている。

	新聞	雑誌	ネット	テレビ	ラジオ	知人	その他
第一回	41%	7 %	13%	45%	4 %	20%	13%
第二回	25%	9 %	14%	36%	3 %	25%	15%
第三回	15%	16%	17%	30%	3 %	25%	14%
第四回	12%	7 %	25%	22%	2 %	17%	15%
第五回	10%	10%	22%	19%	1 %	20%	18%

○来館構成

団体はほとんどが修学旅行等教育旅行で、一人又は友人グループといった少人数での来館の比率が増加している。

	一人	家族	友人グループ	団体
第一回	12%	63%	19%	6 %
第二回	12%	46%	15%	27%
第三回	11%	46%	22%	21%
第四回	17%	53%	12%	17%
第五回	18%	50%	23%	8 %

○今回の来館に伴う県内宿泊予定

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令もあり、宿泊者比率は減少した。

	有	無
第一回	11%	89%
第二回	24%	76%
第三回	31%	69%
第四回	46%	52%
第五回	35%	63%

○他の立ち寄り場所

センターから徒歩圏内の浅間大社の比率は多いものの、周辺観光施設への立ち寄りも比較的多く見られる。

	浅間大社	白糸の滝	朝霧高原	その他
第三回	55%	27%	16%	10%
第四回	42%	29%	9 %	20%
第五回	50%	17%	19%	15%

4-7 条例・規則

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

平成29年10月24日

条例第35号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 世界遺産富士山（静岡県世界遺産富士山基本条例（平成27年静岡県条例第31号）第2条第1号に規定する世界遺産富士山をいう。以下同じ。）の有する顕著な普遍的価値（同条第3号に規定する顕著な普遍的価値をいう。）についての県民の理解を深めることにより、当該顕著な普遍的価値を後世に引き継ぐこと及び県民文化の向上に寄与することを目的として、静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）を富士宮市に設置する。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時まで（7月及び8月にあっては、午前9時から午後6時まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第4条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

- (1) 毎月第3火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は同法に規定する休日でない日）
- (2) 12月27日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 センターに展示されている世界遺産富士山に関する資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

(特別観覧)

第6条 知事は、センターに収蔵されている世界遺産富士山に関する資料等について学術研究等のために必要があると認めるときは、当該資料等の模写、模造、撮影等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者に対して、当該特別観覧を承認することができる。

2 前項の規定による承認には、センターの管理のために必要な限度において条件を付することができる。

（特別観覧料）

第7条 特別観覧をしようとする者は、別表第2に定める額の特別観覧料を前納しなければならない。

（観覧料等の減免）

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は特別観覧料（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第9条 既納の観覧料等は還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成29年12月23日から施行する。

別表第1（第5条関係）

(1) 常設展示

利用区分	観覧料
個人	300円
団体	1人につき 200円

備考

- 1 個人とは、満15歳以上の者であって、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者以外のものをいう。
- 2 団体とは、20人以上をいう。
- 3 企画展示と常設展示を併せて観覧する場合の常設展示の観覧料は、減免することができる。

(2) 企画展示

1,500円を限度として知事がその都度定める額

別表第2（第7条関係）

利用区分	特別観覧料
模写	1点1日につき 2,000円
模造	1点1日につき 2,000円
撮影	1点1回につき 4,000円
熟覧	1点1日につき 1,000円
原板使用	1点1回につき 3,000円

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

平成29年10月24日

規則第41号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

（趣旨）

第1条 この規則は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例（平成29年静岡県条例第35号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（入館時間）

第2条 静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）の入館時間は、午前9時から午後4時30分まで（7月及び8月にあっては午前9時から午後5時30分まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（観覧手続）

第3条 常設展示又は企画展示（以下「常設展示等」という。）を観覧しようとする者は、条例第5条の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。ただし、知事が認めた団体については、観覧後に観覧料を納めることができる。

（特別観覧手続）

第4条 条例第6条第1項に規定する特別観覧（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、あらかじめ、様式第1号による特別観覧承認申請書を知事に提出しなければならない。

2 知事は、特別観覧を承認したときは、特別観覧承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の減免）

第5条 条例第8条の規定による観覧料等（同条に規定する観覧料等をいう。以下同じ。）の減免（以下「観覧料等の減免」という。）は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとし、その減免

する額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下「障害者」という。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (2) 障害者が常設展示等を観覧するときに現に付き添って介護を行っている者（障害者1人につき1人に限る。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (3) 70歳以上の者が常設展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (4) 70歳以上の者が企画展示を観覧するとき 観覧料の2分の1の額（当該額に100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げた額）
 - (5) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として幼児、児童、生徒、学生等が企画展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (6) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として常設展示等を観覧する幼児、児童、生徒、学生等を引率する者が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (7) その他知事が特別の理由があると認めるとき 知事が別に定める額
- 2 観覧料等の減免を受けようとする者は、あらかじめ、様式第2号による観覧料等減免承認申請書を知事に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、前項第1号から第4号までのいずれかに該当するとき、又は前項第7号に該当する場合であって知事がその必要がないと認めるときは、この限りでない。
- 3 知事は、観覧料等の減免を承認したときは、観覧料等減免承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の還付）

第6条 条例第9条ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

- (1) 観覧又は特別観覧をしようとする者の責めに帰することができない理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。
 - (2) その他知事が必要と認めるとき。
- 2 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を知事に提出しなければならない。
- 3 条例第7条の特別観覧料（以下「特別観覧料」という。）の還付を受けようとする者は、様式第3号による特別観覧料還付申請書を知事に提出しなければならない。ただし、第1項第1号に掲げる場合は、この限りでない。

（委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、センターの長が別に定める。

附 則

この規則は、平成29年12月23日から施行する。

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

静岡県富士山世界遺産センター 年報2021.4－2022.3

2022年9月発行

編集・発行 静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

T E L 0544-21-3776

F A X 0544-23-6800

印 刷 文光堂印刷株式会社



静岡県富士山世界遺産センター